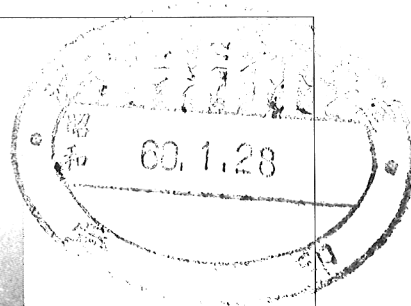


# 目 次

歳時記	1
今月の主な動き	2
年頭所感	4
統計の窓 昭和59年度統計グラフコンクール	6
喜びに満ち溢れた昭和59年度茨城県功績者表彰	11
調査から 昭和59年度学校基本調査結果	12
統計の窓 丑年生まれの人口	17
主要経済指標	18
人口	
1. 世帯, 人口および人口移動	20
2. 市町村別人口と世帯	20
労働	
3. 産業別賃金指数	22
4. 産業別雇用指数	22
5. 産業別労働時間	23
6. 職業紹介状況	23
農業	
7. 農産物の平均販売価格	24
鉱工業・エネルギー	
8. 鉱工業指数(季節調整済指数)	25
9. 産業別電力消費量	28
10. 石油製品販売量	28
金融・経済	
11. 金融機関別実質預金・貸出残高	29
12. 県内金融経済	30
13. 企業倒産状況	30
喫煙室	39
新着資料案内	40
統計ニュース	41
家計・物価	
14. 家計主要指標(水戸市・全国)	31
15. 1ヵ月1世帯当りの実収入および実支出 (水戸市, 勤労者世帯)	32
16. 消費者物価指数(水戸市)	33
17. 卸売物価指数(全国)	34
福祉	
18. 生活保護	34
19. 消費生活相談	35
建築	
20. 建築主別建築着工	35
21. 着工新設住宅	36
その他	
22. レジャー状況	36
23. 交通事故発生件数	37
24. 自動車保険請求相談	37
25. 刑法犯罪発生件数	38
26. 火災発生件数	38

## 利用上の注意

1. 統計表の数値は原則として単位未満は四捨五入
  2. 「年」は暦年, 「年度」は4月から翌年の3月まで
3. 記号
- |   |                |   |                  |
|---|----------------|---|------------------|
| — | 零または該当数字のないもの  | r | 訂正数字             |
| ○ | 該当数字が掲載単位未満のもの | △ | 減少または出超          |
| … | 不詳のもの          | x | 秘密保持のため掲載をひかえたもの |
| p | 暫定数字           |   |                  |



### 科学博の陽, 昇る!

午前6時50分……。

暗闇の中に、閃光が真一文字に突っ走っていく。まばゆい鮮紅色が眼球をつらぬき、炎の世界に入った幻覚と心地よい衝撃波が体内を駆けめぐる。凍てつく厳寒のさざ波がしだいに輝きを増している。この、キラキラと映しだす波紋の映像は、あたかも限りない創造力による人々の感動のドラマをさとしていているかのようだ。

天と大地が育んだ郷里の豊かな自然に、先端科学技術の競演の火が、今ともろうとしている。

夢とロマンの昭和60年、新しい時代の幕開けである。

### 1月のおもな行事

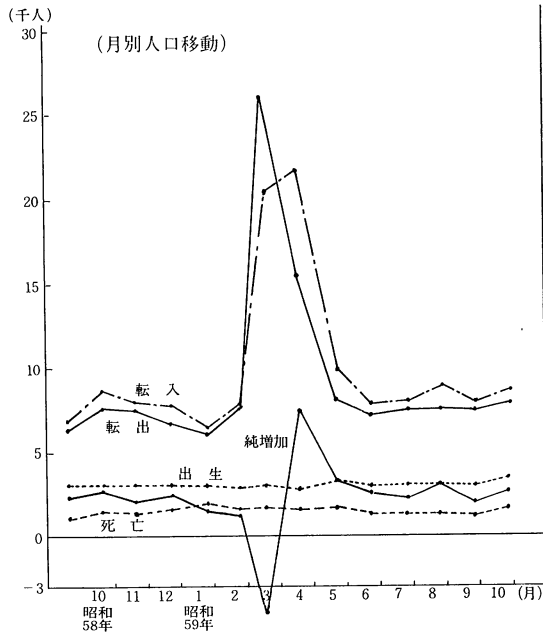
- 4日 御用始め
- 9～10日 毎月勤労統計調査乙調査説明会(守谷町)
- 17～18日 労働力調査調査員説明会(水戸市, 竜ヶ崎市, 江戸崎町, 谷田部町)
- 22～23日 関東ブロック統計主管課庶務主任者会議(東京都)
- 24日 国勢調査実施準備打合せ会(水戸市)
- 29～(㉜) 労働力調査特別調査説明会(土浦市, 下館市, 水戸市, 潮来町)
- 31～(㉜) 全国統計主管課長会議(東京都)  
個人企業関東ブロック担当者会議(千葉県)  
全国消費実態調査地方別事後報告会(岩手県)

お  
い  
し  
お

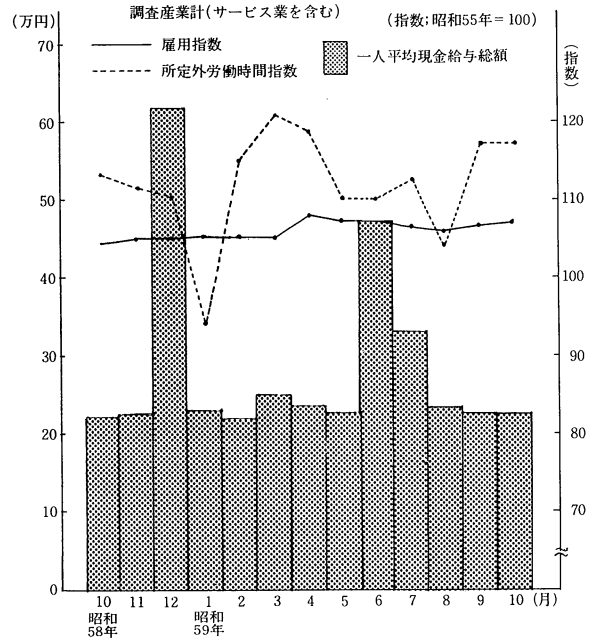
● 今月の主な動き

# 今月の主な動き

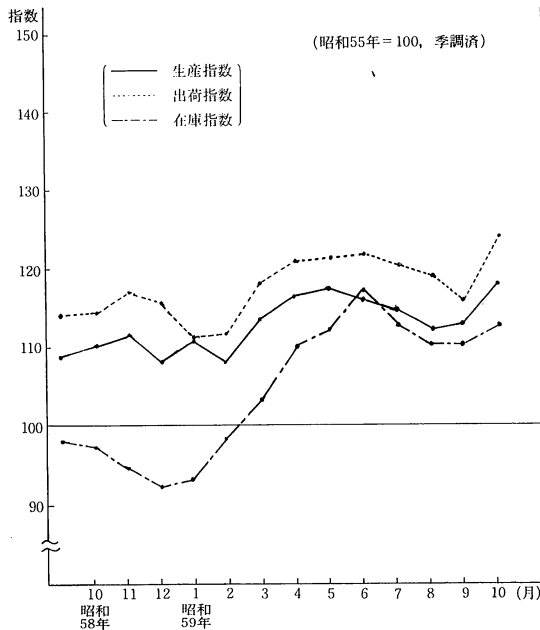
## 人 口



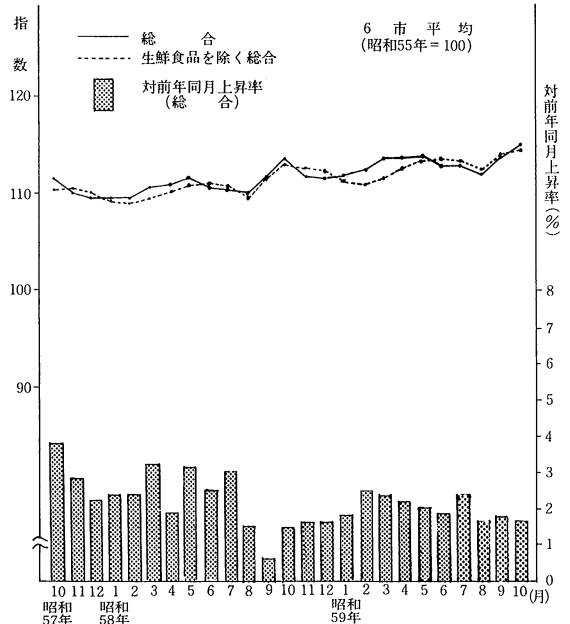
## 賃金・労働時間・雇用



## 鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



## 消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (11月 1日)

本県の人口は、10月中に2,629人増加し、11月1日現在で2,693,325人になった。昨年11月1日現在と比較すると25,547人(0.96%)の増加であり、10月の増加数が前年を若干ではあるが上回った。

内訳は、自然動態で1,744人(出生3,181人、死亡1,437

人)、社会動態で885人(転入8,691人、転出7,806人)の増加である。

市町村別では増加14市53町村、減少4市19町村、増減なし2町である。

世帯数は891世帯増加して749,843世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (10月)

1. 平均賃金の推移

10月の常用労働者1人1ヶ月平均現金給与総額は224,879円で前月に比べ0.7%増(前年同月比4.6%増)であった。

このうちきまって支給する給与は221,414円で前月に比べ0.2%増(前年同月比4.2%増)であり、特別に支払われた給与は3,465円で前年同月に比べ1,110円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は180.7時間で、前月に比べ0.1%増(前年同月比1.6%増)であった。

このうち所定内労働時間数は162.5時間で、前月に比べ0.2%減(前年同月比1.3%増)であり、所定外労働時間数は18.2時間で、前月と保ち合い(前年同月比4.0%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.6で、前月に比べ0.1ポイント増、前年同月に比べ1.6ポイント増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (10月)

昭和59年10月の本県の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が118.4、出荷が123.7、在庫が112.5で、前月比は、生産が5.0%、出荷が6.9%、在庫が2.3%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が7.8%、出荷が7.6%、在庫が15.9%の上昇であった。

生産を業種別にみると、鉄鋼、石油・石炭製品、一般機械等が上昇し、鉱業、精密機械等が低下した。

出荷を業種別にみると、一般機械、非鉄金属、鉱業等が

上昇し、精密機械、金属製品等が低下した。

在庫を業種別にみると、石油・石炭製品、精密機械、電気機械等が上昇し、鉱業、木材・木製品等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財、資本財等が上昇し、耐久消費財が低下した。出荷では、資本財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、非耐久消費財、耐久消費財等が上昇し、資本財、その他用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (10月)

昭和59年10月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で115.0(昭和55年=100)となり、前月比(+0.9%、対前年同月比(+1.6%の上昇となった。

今月上がった主な項目……果物(+23.7%、保健医療サービス(+7.3%、衣料(+7.3%

今月下がった主な項目……魚介類(-3.7%、野菜・海草(-7.3%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総合	115.0	0.9	1.6	保健医療	113.5	4.4	6.7
食料	115.7	0.5	1.1	交通通信	109.2	0.0	1.9
住居	113.8	0.3	1.3	教育	134.3	0.0	5.3
光熱・水道	109.2	0.0	0.3	教養娯楽	114.9	0.6	1.7
家具・家事用品	107.0	0.4	1.7	諸雑費	113.1	0.0	0.7
被服及び履物	120.4	4.2	0.9	生鮮食品を除く総合	114.8	0.7	2.1

## 年頭のごあいさつ



茨城県知事  
茨城県統計協会総裁

竹内藤男

新春にあたり、謹んで皆様方のますますのご健勝とご活躍を、心からお祈り申し上げます。

去年は、昭和50年代を締めくくる年にふさわしく、射爆場跡地利用の中核となる常陸海浜公園や霞ヶ浦導水事業の着工、常磐自動車道の水戸インターチェンジまでの開通、そして科学万博の関連事業など県土発展の土台となる事業が着々と進展しており、筑波メディカルセンターや県立こども病院の建設、県立高校の整備など県民の生活をさらに豊かにし、その質を高める施策も順調に進めることができました。

ここに、皆様方の温かいご支援、ご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

さて、本年は、昭和60年代の幕開けであり、本県の長い歴史の中でも大きな転換を迎える重要な年があります。3月17日から6ヵ月間筑波研究学園都市で国際科学技術博覧会が開催されますが、この博覧会は、国際化や情報化社会への移行が進む我国が、技術立国への道をたどる中で、本県が重要な位置を占めていくための契機となる国家的意義をもつ催しであります。そして、それは同時に、茨城のイメージアップを図り、県民の意欲を高め、飛躍の発展を促す跳躍台となるものであり、開催地元県として、県民の総力を結集し、是非とも成功させる決意であります。

昭和60年代は、技術開発を中心とした新しい時代へ移行する年代であります。幸い本県は、首都東京や成田の国際空港に近いなど、国際化、情報化社会の中で有利な地理的条件を有しております。さらに、日立や鹿島などの産業技術の集積に加え、筑波研究学園都市や原子力関連施設など21世紀の科学技術を支える大きな集積を有しており、これからの時代をリードする条件を十分に備えております。

私はこのような有利な条件を具体的に引き出し、本県の発展を確実なものとするため、これまでも発展基盤の整備に力を入れて取り組んでまいりましたが、さらに、60年代は、科学技術の時代に対応できる条件の整備についても力を入れて取り組んでまいり所存であります。

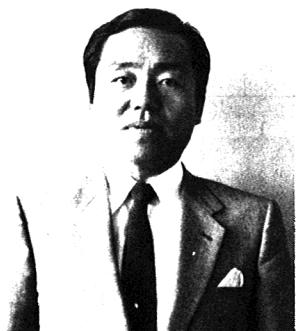
このため、本年は、第2常磐線構想や首都圏中央連絡道の早期実現、常陸那珂港や常陸海浜公園を中核とする射爆場跡地利用の促進、鹿島線沿線地域の開発・整備、北関東横断道路の早期建設、優良企業の導入、グリーンピア構想の具体化などを重点的に進めてまいります。

また、高齢化社会の到来に適切に対応するための医療や福祉の充実、教育・文化の振興、バイオテクノロジーを活用した新しい農業の展開、商工業の振興、新しいコミュニティづくりなど県民の生活を高める施策についても、さらに力を入れて取り組んでまいります。

本年も、依然として厳しい財政状況にあります。私は、行財政の簡素効率化をさらに進める中で、郷土の発展と県民福祉の向上のため、全力投球する決意であります。

今後とも、皆様方の力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 新年のごあいさつ



茨城県企画部長  
茨城県統計協会会長

小 鷺 茂

新年明けましておめでとうございます。

昭和60年の新春を迎えるにあたり、皆様方のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げますとともに、日頃統計行政にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

今春、3月17日から6ヵ月間、20世紀における今世紀最後の祭典ともいふべき「国際科学技術博覧会」が、筑波研究学園都市において開催されます。現代は科学技術の時代、世界各国による先端テクノロジーの競演会が今行われようとしています。本県では、これを契機として世界に開かれた豊かで住みよい茨城づくりをさらに前進させようとしています。

一方、輝かしい21世紀の茨城の未来を切り開くような県土づくりを進めるという観点から、昭和61年度を初年度として、昭和65年度を目標年次とする新しい5ヵ年計画を策定中であります。この計画は、今後、県が当面する国際化、高齢化、高度技術化社会に対応するための行政計画であるとともに、県民の参加と協力を得て県政を進める指針を明らかにするものです。この計画策定に当たっては、県勢の動向等を把握するために、数多くの統計データが基礎資料として使われております。この現状をみましても、統計データの重要性、さらには統計調査そのものの重要性が皆様にも十分お分かりになっていただけることと思います。

近年における我が国の社会経済情勢は、複雑多様化してきており、これに伴って統計情報に対する住民のニーズがますます高まっています。この要因として、社会経済の推移、現状、動向を適時的確に把握するために必要な統計が不足していることを指摘されたり、また、近年著しい発展をみた情報処理技術の進展に対して統計の範囲も再検討が余儀なくされていること等が挙げられます。

そこで、県としましては調査対象の負担軽減やプライバシーの保護等、統計調査環境の改善はもちろんのこと、情報量確保のための統計データの相互利用、データ・ベースの充実化、さらには小地域統計の整備拡充、加工統計の積極的な活用を推進していく所存です。特に統計の利活用については、重要な課題ですので、現在も利用者の立場に立って、時代の要請に応えるべく鋭意努力中であります。

この具体的実施内容の一つに幅広い統計情報の提供があります。最近、OA(オフィスオートメーション)化が叫ばれ、事務処理合理化や行政サービスの向上を図る意味からも情報処理機器であるパソコン等の利用が年々重要視されてきております。

部内では昨年、統計課に初めてパソコンが設置され、簡単な作表やグラフ作成はもちろんのこと、各種基礎データの蓄積や分析に活用しております。これからも、この機動性を十分生かした幅広い統計情報の提供を推進していきたいと考えております。

もう一つには統計の行政サービス機能の充実強化です。統計利用者へのサービスについても一層充実させることが望まれていますので、広範な統計資料の収集と提供、各種統計相談の対応等統計資料に対するニーズにも的確に応えられるよう「行政資料室」等サービス機能についても充実強化を図ってきたいと考えております。

今年は、国勢調査、商業統計調査、農業センサス等大規模統計調査が次々と行われる予定です。どうか皆様方におかれましても、統計の果たす役割とその使命をもう一度再認識され、本県統計事業発展のため邁進されますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

# 応募点数 実に11,922点!

## 茨城県コンクールの部

- (1) 主催 茨城県, 茨城県教育委員会, 茨城県統計協会  
 (2) 後援 茨城新聞社  
 (3) 部門別応募資格
- 第1部 小学校3年生以下の児童
  - 第2部 小学校4年生以上の児童
  - 第3部 中学校の生徒
  - 第4部 高等学校の生徒
  - 第5部 一般

### 最近5年間の応募状況

部門別 年度別	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部	計
55	1,480	2,103	927	2	5	4,517
56	1,946	2,723	630	0	7	5,306
57	2,639	3,779	843	0	7	7,268
58	3,617	5,063	2,543	1	6	11,230
59	3,922	5,857	2,136	1	6	11,922

### (4) 実施日程

- 昭和59年6月13日 作品募集開始  
 9月8日 応募締め切り  
 9月7日～8日 地区審査会  
 9月10日 第1次県審査会  
 9月11日 第2次県審査会  
 9月17日 第32回全国コンクールへ出品  
 10月18日 第26回県統計大会において入選者の表彰と作品の展示

### (5) 審査結果

第1部から第3部については、教育事務所単位に行なわれた地区審査会において入選した作品、第4部及び第5部についてはすべての作品について県審査が行なわれ、各賞別の入選点数は右記のとおりとなりました。

部門別 賞区分	1部	2部	3部	4部	5部	計
知事賞	1	1	1		1	4
県議会議長賞	1	1	1		1	4
県教育長賞	3	3	3			9
県統計協会総裁賞	5	5	5	1	1	17
茨城新聞社長賞	1	1	1			3
県統計協会会長賞	10	10	10		2	32
佳作(企画部長賞)	129	129	109			357
地区審査会佳作	25	25	20			70
優秀校賞		10	5			15
奨励校賞		32	7			39

### (6) 表彰

入選作品(佳作を除く)については、10月18日の統計の日に水戸市民会館において行なわれた、第26回茨城県統計大会の席上竹内副知事などから賞状及び副賞品が授与されました。

また受賞者を代表して水戸市立石川小学校2年生の諏訪原規子さんが可愛らしい姿で堂々と喜びのこぼをのべて、満場の拍手をうけました。

なお審査員の先生方を代表して、県教育庁指導主事の堀田先生から次のような選評をいただきました。

### <選評>

全体的なことで

まず特筆されるのが応募作品が11,922点にもものぼったということである。昨年の11,230点をさらに上回り「統計思想の普及向上と統計の表現技術の研さんに資する」という、この統計グラフコンクールの目的が着実に達成されつつあると言えよう。

応募作品の多さと共に、力作が非常に多く、入賞作品を選出する上で大変に苦労した。また、各地区・学校の差が極めて接近し、入選した作品も例年になく広範囲の学校に散らばった。これまた大変に喜ばしいことである。

昭和59年度統計グラフコンクール

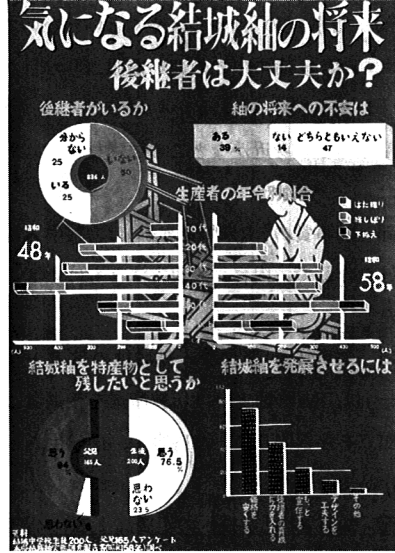
知事賞受賞作品

《第1部》



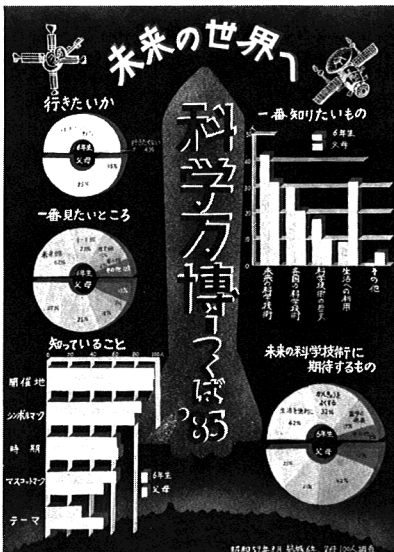
北浦村立小貫小学校 1年  
松本恵美子

《第3部》



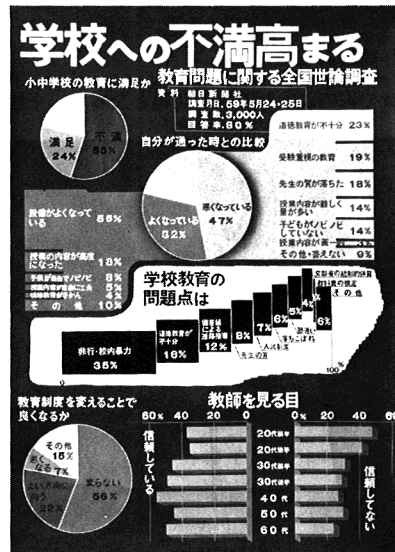
結城市立結城中学校 1年  
上野澄恵・高野真希・館野典子

《第2部》



結城市立結城小学校 6年  
稲葉健二郎・森山健二・井上裕司

《第5部》



西茨城郡友部町大田町  
稲野辺敏明



作品の傾向として、科学万博やオリンピック、エリマキトカゲなど身近かなことに対する児童生徒の関心が伺われた。優秀作品について

第1部 知事賞の「はやくはやくといわないで、おかあさん」は、日常生活の中での鋭い着眼ぶりが目立った。議長賞の「おとうさん、おねがいきいてね!」も同様であるが、低学年らしい身近かなところに素材を求めた点が立派であった。

第2部 知事賞の「未来の世界へ」は、科学万博への夢を結び付けた作品で、内容、表現方法ともにすばらしい作品であった。

第3部 知事賞の「気になる結城紬の将来—後継者は大丈夫か—」は、結城紬という伝統産業を後継者に焦点を当てて問題点を浮き彫りにした内容で、中学生らしい、すばらしい作品であった。

第5部 知事賞の「学校への不満高まる」・議長賞の「いま夫婦のきずなどは……」は、いずれも本コンクールに何回も優秀賞を受けているベテランの作品で、色彩、レイアウト、レタリング等のいずれをとっても申し分のないすばらしい作品であった。

今後の作成に当って

審査会で次のようなことが問題となった。今後の作成に



知事賞受賞者を代表して賞状を受ける  
北浦村立小貫小・松本恵美子さん

受賞の喜びをのべる  
水戸市立石川小・諏訪原規子さん



当って配慮してほしいと思う。

- (1) 完成後もう一度見直しをしたい。特に、グラフ軸の原点の0の欠落、円グラフでの総数の表示、棒グラフを立体化した場合の目盛線との関係などに十分留意してほしい。
- (2) あまり技法にこだわりすぎないこと。例えば、折れ線グラフを立体化したり、円グラフをだ円形や馬てい形にすると、どうしても正確さや見やすさが損なわれる傾向にある。
- (3) 絵グラフをのり付けしたり、台紙とグラフの絵の具が異なる材質の場合、はく落するケースが目立った。
- (4) 統計表は、特に百分率で表示する場合、実数も必ず記入するようにしたい。



統計大会の会場内に展示された優秀作品の数々

茨城県統計グラフコンクール入選者

茨城県知事賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	はやくはやくといわないで おかあさん	松本恵美子	1	北浦村立小貫小学校
2	未来の世界へ	稲葉健二郎	6	結城市立結城小学校
3	気になる結城袖の将来 後継者は大丈夫か？	井上裕司	6	"
		森山健二	6	"
		上野澄恵	1	結城市立結城中学校
5	学校への不満高まる	館野典子	1	"
		高野真希	1	"
		稲野辺敏明	公務員	西・友部町大田町1065-2

茨城県議会議長賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	おとうさん おねがいきいてね!	飯田 聡	2	岩井市立七重小学校
		柏木弘嘉	2	"
2	寒さに弱い現代っ子	岩瀬利治	6	新治村立山の荘小学校
3	いま学校生活の中で	吉川孝子	2	結城市立結城南中学校
		高野沢由喜	2	"
5	いま夫婦のきずなどは……	青木勇一	公務員	西・友部町小原2094-2

茨城県教育長賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	みんなてべたいなあ ゆうごはん	中井昌一	1	水戸市立笠原小学校
1	口をあけてあるく人って 多いんだね	諏訪原規子	2	水戸市立石川小学校
1	ニコニコお父さん プンプンお母さん	澤田マキ	2	総和町立小堤小学校
		小笠原智子	2	"
		前田美奈子	2	"
2	私達の要求するものは (6年生と1年生のちがひ)	八野 恵美	6	日立市立水木小学校

表 つづく

表 つづき

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
2	いよいよ開催科学万博	阿久津宏美	6	結城市立結城小学校
		山室朋子	6	"
		小沢ちか子	6	"
2	校庭はけが人続出	紫村久美子	6	牛堀町立牛堀第一小学校
3	激増する女子非行	永井吉則	1	結城市立結城南中学校
		豊口 聡	1	"
		山口 聡	1	"
3	政治無関心病	永木裕重	1	"
		藤井郁子	3	日立市立多賀中学校
3	大気汚染はいま……	大嶋 剛	3	結城市立結城南中学校
		氏家一幸	3	"
		海老沢 誠	3	"
		梅沢謙一	3	"

茨城県統計協会総裁賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	なつやすみ なにしてあそんだの	中井川洋平	1	土浦市立土浦小学校
1	とびだしにちゅうい	藤井 舞	1	小川町立小川小学校
		佐藤文緒	1	"
1	こんなことしてあげたいな けいろうの日	伊能永子	1	"
		加藤直子	1	鹿島町立三笠小学校
		鳥海勝之	1	"
1	はくと わたしの おこづかい	高風和代	1	"
		岡野多加志	3	土浦市立土浦小学校
1	病氣しないでお母さん	石崎香緒里	3	結城市立江川南小学校
		石崎智可	3	"
2	粉せっけんを! とは言うけれど	林 純子	5	土浦市立神立小学校
		駒井真樹	5	"
2	気になる席がえ	森崎友男	5	"
		萩原浩樹	5	"

表 次頁へつづく

表 つづき

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
2	ねむっている参考書	加藤 智子	5	結城市立結城小学校
		細川 愛香	5	"
		山本 薫	5	"
2	男の子・女の子 今度生まれるとしたら	小林 美紀	6	岩井市立弓馬田小学校
		張替 聡子	6	"
2	シートベルト着けてよ お父さん	荒木 希	6	結城市立城南小学校
		坪山 温子	6	"
		村山 洋子	6	"
3	広まる国際交流	大越 澄恵	2	北茨城市立磯原中学校
3	ふやしたい都市公園	谷田貝華水	2	結城市立結城中学校
		寛 ひとみ	2	"
		松本 美咲	2	"
3	中学生と塾 ＝その必要性は＝	平出 真弓	3	竜ヶ崎市立城南中学校
		斉藤 みどり	3	"
3	最後まで使って！ わかっていても使えない	飯田 真理子	3	岩井市立岩井中学校
		岡田 英理	3	"
3	揺れる中学生の心	飛田 晴美	3	関城町立関城中学校
		藤倉 芳子	3	"
		川合 佐織	3	"
4	まだまだ足りない 障害への理解	大内 順子	1	土浦日本大学高等学校
		川村 香	1	土浦工業高等学校
		菅原 裕子	1	土浦第二高等学校
		椿 亜弓	1	"
		豊田 貴和	1	"
5	テレビ王国日本の現状	会 沢 勉	公務員	水戸市酒門町4558-5

茨城新聞社長賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	ねえ、もっと遊ばせて！	田中麻紀子	3	結城市立結城小学校
		五十畑 こそ恵	3	"
2	生きもの 大すき	飯村 文人	4	筑波町立菅間小学校
3	どうして村に残らないの	鴨志田 康人	1	水府村立水府中学校

茨城県統計協会会長賞

部別	表 題	氏 名	学年 (職業)	学 校 名 (住所)
1	ほくらのオリンピック	池田 英徳	1	結城市立江川北小学校
		高橋 奏子	1	"
1	ほめられてうれしかったよ	菅谷 ともみ	1	玉造町立現原小学校
1	すきなおやつ	平内 克憲	1	鹿島町立平井小学校
		西 純一	1	"
		沢 畑 幸恵	1	"
1	ほしいなー エリマキトカゲ	鈴木 宏幸	2	日立市立大久保小学校
		作山 真由美	2	"
1	あつかった夏休み 海やプールが1ばん	斉藤 恭子	2	笠間市立稲田小学校

統計グラフ全国コンクールの部

応募点数、入選点数とも本県がトップを占める！

全国コンクールには、県審査において特に優秀と認められた作品について、21点を出品しました。

全国の応募作品70,350点のうち、実に16.9%を本県が占めており、入選点数も130点のうち本県が12点とトップの成績でした。

入選作品については10月30日京都市において開催された第35回全国統計大会に展示され一般に公開されました。

なお本県の入選状況は下記のとおりです。

入選状況

部門別	入 選	佳 作	計
1	1 点(8席)	1 点	2 点
2	1 点(3席)	3 点	4 点
3	1 点(1席)	2 点	3 点
5	2 点(3席 8席)	1 点	3 点
計	5 点	7 点	12 点

(統計課・統計指導グループ)

# 喜びに満ち溢れた 昭和59年度茨城県功績者表彰

去る11月22日(木)、昭和59年度茨城県功績者に対する表彰が茨城県公館において行われ、知事から各界の功績者25名に対して表彰状と記念品が贈られました。

この功績者表彰は、長年にわたりひたすら社会の進歩発展に尽力し著しい功績が認められた者に対して贈られるものであり、特に県の行政の伸展に寄与しその事績が県民の模範であり、かつ県民又は地域住民から敬愛されている方々が対象となっております。

昭和31年に創設されたこの功績者表彰は、「県民の日」(11月13日)の行事の一環として毎年行われており、これまで18名の統計調査員の方々が受賞しております。

今年度は、地方自治の分野における統計功労者として次の2名の方が栄えある表彰を受けられました。

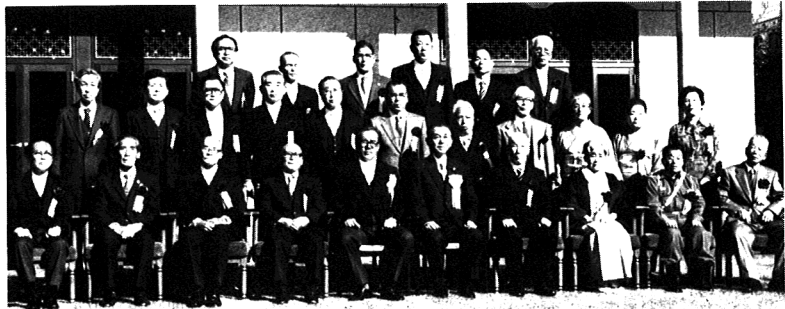
- 下館市統計調査員 榎戸金次氏
- 八郷町統計調査員 長谷川要氏

両氏は、長年統計調査員として国勢調査をはじめ茨城県農業基本調査など各種の統計調査に従事し、統計調査のもつ社会的意義と重要性を十分に認識して、迅速かつ正確性に努め優秀な成績を取るとともに、長年にわたる統計調査員の経験とおう盛な研究心をもって統計調査内容の疑義を正すなど他統計調査員の模範であり、統計調査業務を通して県政の発展に寄与した功績は大きなものがあります。

また、地域にあっては民生委員又は森林組合理事など多くの役職を歴任し、豊富な社会経験から生ずる卓越した識見と信念に基づきその重責を十分に果たしており、地域住民の信望を集めております。これらのことが高く評価され今回の功績者表彰の受賞となっております。心よりお祝い



知事を囲んで：右から小鷲企画部長、長谷川氏、竹内県知事、榎戸氏、大友統計課長



栄えある受賞者の面々  
栄誉を称える竹内県知事、武藤県議会議長(前列中央左・右)

申し上げます。

本年は、農業センサス、商業統計調査、国勢調査と大規模調査がめじろ押しに行われることとなり、県・市町村はもとより統計調査の第一線で活動される統計調査員の皆様の業務負担は相当なものであらうと予想されます。特に国勢調査は、簡易調査とはいえわが国の人口の実態を総合的には握し、各種行政施策その他の基礎資料を提供する極めて重要な意義をもつものであり、県としては調査の円滑かつ効率的な実施を図るべく準備作業を進めておるところです。

調査の実施にあたっては、プライバシー保護の問題をはじめとして、調査拒否、非協力事業所等厳しい調査環境が想定されますが、県・市町村・統計調査員の皆様が一体となり、相互協力体制を整えながら遂行して行きたいと考えております。どうか忌憚のない御意見をお寄せいただきたいと存じます。

## 茨城県功績者表彰受賞者一覧

年度	市町村名	受賞者名	年度	市町村名	受賞者名
38	岩井市	中山卯一郎	51	常北町	田口勝之介
39	筑波町	鮭川清	52	岩瀬町	榎戸直一郎
40	波崎町	名雪定一	53	茨城町	齋藤義雄
42	土浦市	小松英一	54	下館市	小島誠一郎
44	下館市	廣瀬良一郎	56	八千代町	水書忠重
47	古河市	長浜昌一	57	日立市	沼田利祥
48	友部町	藤井由助	七会村	近澤勇	
49	下館市	菊池貞治	58	那珂町	武藤勝一
50	緒川村	大竹市之介	東村	水飼明定	

(統計課・統計指導グループ)

# 大学進学率 前年より上昇

この調査は、昭和23年度以降文部省所管により毎年行われているもので、この調査結果は昭和59年5月1日現在で実施した「学校基本調査」(公立・私立)の結果から主要事項についてまとめたものであり、全体の集計結果の詳細については、後日「昭和59年度茨城の学校統計」として公表する予定です。

今回掲載した数値はいずれも概数であり、後日文部省で公表する数値が確定数となります。

## 調査結果の概要

### 1. 学校調査

#### (1) 小学校

学校数は、594校(公立593校、私立1校)で前年度より1校の増加である。新設・統廃合の状況を見ると、今年度の新設校は、水戸市1校、土浦市1校、結城市1校、阿見町1校、利根町1校、三和町1校の6校である。また、5校(本校4校、分校1校)が廃止され近くの学校へ統合された。

学級数は、昭和46年度以降増加していたが今年度は前年度より44学級の減少となり8,403学級である。1学級当たりの児童数は32.8人となる。

児童数は、275,480人(公立275,461人、私立19人)で前年度より2,845人の減少である。

教員数(本務者)は、11,195人で前年度より2人の増加である。男女別にみると、男子5,246人、女子5,949人で女子教員の占める比率は53.1%と前年度より0.3ポイント上昇した。また、本務教員1人当たりの児童数は24.6人となり前年度より0.3人の減少である。

#### (2) 中学校

学校数は、221校(公立215校、私立6校)で前年度より7校の増加である。新設・統廃合の状況を見ると、今年度の新設校は、土浦市1校、古河市1校、石岡市1校、竜ヶ崎市1校、神栖町1校、利根町1校の公立6校及び私立1校が新設された。

学級数は、昭和51年以降毎年増加しており、今年度は前年度より117学級増加し3,497学級である。1学級当たりの生徒数は、38.6人となる。

生徒数は、135,059人(公立133,251人、私立1,808人)で

前年度より4,600人の増加である。

教員数(本務者)は、6,133人で前年度より216人増加し、男女別にみると男子4,161人、女子1,972人となり男女の占める比率は、男子教員67.8%に対し女子教員32.2%で前年度より女子教員が0.2ポイント上昇した。本務教員1人当たりの生徒数は21.7人で前年度より0.3人の減少である。

#### (3) 高等学校

学校数は、121校(公立102校、私立19校、うち1校休校)で前年度より2校の増加である。新設の状況を見ると、取手市1校、桜村1校(公立)となっている。

生徒数は、111,389人(全日制110,152人、定時制1,229人、専攻科8人)で前年度より5,576人の増加である。

教員数(本務者)は5,872人で前年度より211人の増加である。本務者1人当たりの生徒数は19.0人で前年度より0.3人の増加である。

#### (4) 盲・聾・養護学校

学校数は盲学校1校、聾学校2校、養護学校14校で今年度は養護学校1校が新設された。

在学者数は、盲学校127人、聾学校210人、養護学校1,808人で合計2,145人である。養護学校では、54年度から義務制が実施され年々増加を続け、今年度も前年度より15人の増加である。

教員数(本務者)は、盲学校55人、聾学校88人、養護学校606人で養護学校の教員数は、前年度より31人の増加である。

#### (5) 幼稚園

幼稚園数は、444校(公立245校、私立199校)で前年度より5校の増加である。新設・統廃合の状況を見ると、公立1

昭和三十九年度学校基本調査結果

校、私立5校が新設され、私立1校が廃止された。

私立の設置者別幼稚園数の比率は、学校法人立62.3%、個人立28.1%、宗教法人立9.6%となっている。

在園者数は52,814人(男子26,924人、女子25,890人)で前年度より947人の減少である。設置者別在園者数は、公立20,219人(38.3%)、私立32,595人(61.7%)である。年齢別在園者数は、3歳児3,584人(6.8%)、4歳児19,670人(37.2%)、5歳児29,560人(56.0%)である。

就園率は71.5%で前年度より0.1ポイントの低下である。教員数(本務者)は、2,514人(公立1,052人、私立1,462人)で前年度より43人の増加である。また、本務教員1人当たりの在園者数は21.0人となっている。

2. 卒業後の状況調査

卒業後の状況調査においては今年度から、中学校等卒業生について高等学校への進学者の項目に「通信制」が設けられた。また、高等学校等卒業生についても、進学者の項目に「大学・短期大学の通信教育学部」が設けられた。

(1) 中学校

昭和三十九年3月卒業生総数は、42,294人(男子21,599人、女子20,695人)で前年より523人の増加である。

進路別内訳は、「進学者」39,786人、「教育訓練機関等入学(所)者(専修学校、各種学校及び公共職業訓練機関等入学(所)者」795人、就職者(進学者及び教育訓練機関等入学(所)者のうち就職している者を除く)1,362人、「無業者及び死亡・不詳」351人である。

進学者(高等学校の本科、高等専門学校及び盲・聾・養護学校高等部へ進学した者)は、39,786人(男子20,063人、女子19,723人)で前年より495人の増加である。進学率(卒業生総数のうち進学者の占める比率)は94.1%で前年と同率である。男女別の進学率をみると、男子が92.9%、女子が95.3%で女子が男子を2.4ポイント上回っている。

就職者総数は、就職者1,016人、進学者のうち就職している者(就職進学者)及び教育訓練機関等入学者のうち就職している者346人・計1,362人(男子811人、女子551人)で前年より281人の減少である。就職率は4.0%で前年より0.1

ポイントの上昇である。

(2) 高等学校

昭和三十九年3月の卒業生総数は、32,621人(男子16,284人、女子16,337人)で前年より690人の減少である。

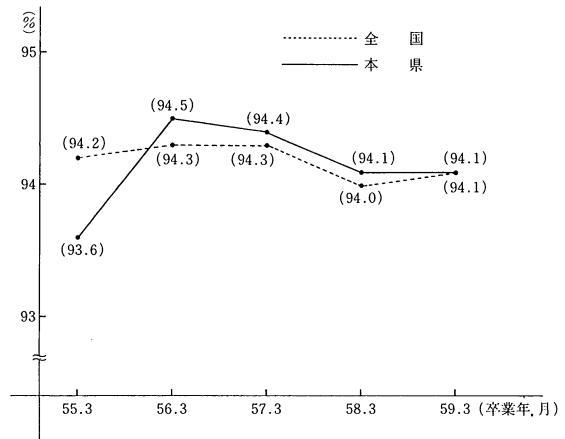
進路別内訳は、「進学者」7,249人、「教育訓練機関等入学(所)者」8,353人、「就職者」15,645人、「無業者及び死亡・不詳」1,374人である。

進学者(大学学部、短期大学本科、大学及び短期大学の別科、大学・短期大学の通信教育学部及び高等学校等の専攻科に進学した者)は、7,249人(男子3,153人、女子4,096人)で前年より77人の増加である。

進学率は、22.2%で昭和三十九年の25.9%を頂点としてそれ以後低下を続けていたが、三十九年は前年より0.7ポイントの上昇である。男女別にみると、男子が19.4%、女子が25.1%で女子が男子を5.7ポイント上回っている。

就職者総数は、就職者15,435人、進学者のうち就職している者(就職進学者)及び教育訓練機関等入学(所)者のうち就職している者210人・計15,645人(男子7,577人、女子8,278人)で前年より732人の減少である。就職率は48.6%で前年より1.1ポイントの低下である。

図 全国と本県の高校進学率の推移



# 調査から

表-1 小学校の推移

(単位：校、学級、人)

年 度	学 校 数			学 級 数	児 童 数	教 員 数 (本 務 者)	職 員 数
	総 数	本 校	分 校				
昭和55年度	588	568	20	8,171	267,274	10,735	1,865
56	587	571	16	8,337	274,787	10,960	1,851
57	595	579	16	8,434	278,706	11,134	1,867
58	593	581	12	8,447	278,325	11,193	1,893
59	594	583	11	8,403	275,480	11,195	1,896

表-2 中学校の推移

(単位：校、学級、人)

年 度	学 校 数			学 級 数	生 徒 数	教 員 数 (本 務 者)	職 員 数
	総 数	本 校	分 校				
昭和55年度	206	205	1	2,985	111,523	5,308	725
56	208	207	1	3,125	118,141	5,545	730
57	210	210	—	3,301	126,672	5,752	768
58	214	214	—	3,380	130,459	5,917	801
59	221	221	—	3,497	135,059	6,133	822

表-3 高等学校の生徒数

(単位：校、人)

年 度	学 校 数			生 徒 数			公 立			私 立		
	計	公 立	私 立	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭和55年度	111	93	18	101,160	51,240	49,920	81,331	40,704	40,627	19,829	10,536	9,293
56	112	95	17	102,446	51,956	50,490	82,082	41,004	41,078	20,364	10,952	9,412
57	112	95	17	101,450	51,572	48,898	81,386	40,536	40,850	20,064	11,036	9,028
58	119	100	19	105,813	53,836	51,977	84,608	41,818	42,790	21,205	12,018	9,187
59	121	102	19	111,389	56,797	54,592	88,603	43,770	44,833	22,786	13,027	9,759

表一4 幼稚園の推移

(単位：園、学級、人)

年 度	幼 稚 園 数			学 級 数	幼 児 数			教 員 数 (本務者)	本務教員 1人当たりの 幼 児 数
	総 数	公 立	私 立		総 数	公 立	私 立		
昭和55年度	421	239	182	1,687	53,627	23,032	30,959	2,341	22.9
56	428	243	185	1,639	52,805	21,784	31,021	2,349	22.5
57	436	244	192	1,771	53,052	21,136	31,916	2,442	21.7
58	439	244	195	1,793	53,761	20,787	32,974	2,471	21.8
59	444	245	199	1,766	52,814	20,219	32,595	2,514	21.0

表一5 幼稚園の年齢別幼児数

(単位：人)

年 度	総 数	公 立				私 立			
		計	3 歳	4 歳	5 歳	計	3 歳	4 歳	5 歳
昭和55年度	53,627	23,032	74	4,909	18,049	30,595	2,642	13,264	14,689
56	52,805	21,784	91	5,163	16,530	31,021	2,918	13,434	14,669
57	53,052	21,136	89	5,272	15,775	31,916	3,160	14,086	14,670
58	53,761	20,787	106	5,510	15,171	32,974	3,505	14,398	15,071
59	52,814	20,219	97	5,530	14,592	32,595	3,487	14,140	14,968

表一6 卒業者の進路状況(中学校)

(単位：人)

年 月	総 数			進 学 者			教育訓練機関等入学者		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭和55年3月	37,054	18,963	18,091	34,656	17,448	17,028	974	741	233
56	35,769	18,099	17,670	33,790	16,864	16,926	776	593	183
57	34,606	17,820	16,786	32,672	16,556	16,116	687	525	162
58	41,771	21,344	20,427	39,291	19,706	19,495	866	593	273
59	42,294	21,599	20,695	39,786	20,063	19,723	795	539	256



■ 調査から

表-6 つづき

(単位：人、%)

年 月	就 職 者			無業者・死亡・不詳			就 職 進 学 者 (再 掲)	進 学 率	就 職 率
	計	男	女	計	男	女			
昭和55年3月	1,175	640	535	249	134	115	326	93.6	4.0
56	981	534	447	222	108	114	320	94.5	3.6
57	988	593	395	259	146	113	274	94.4	3.6
58	1,289	797	492	325	158	167	354	94.1	3.9
59	1,362	811	551	351	186	165	346	94.1	4.0

表-7 卒業者の進路状況(高等学校)

(単位：人)

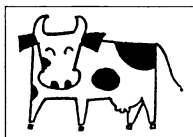
年 月	総 数			進 学 者			教育訓練機関等入学者		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭和55年3月	29,991	14,949	15,042	6,966	3,138	3,828	6,082	3,420	2,662
56	31,507	15,708	15,799	7,034	3,137	3,897	6,893	3,899	2,994
57	31,928	15,879	16,049	7,025	3,169	3,860	7,398	4,341	3,057
58	33,311	16,706	16,605	7,172	3,068	4,104	8,355	5,031	3,324
59	32,621	16,284	16,337	7,249	3,153	4,096	8,353	5,135	3,218

表-7 つづき

(単位：人、%)

年 月	就 職 者			無業者・死亡・不詳			就 職 進 学 者 (再 掲)	進 学 率	就 職 率
	計	男	女	計	男	女			
昭和55年3月	15,569	7,713	7,856	1,374	678	696	164	23.2	52.5
56	16,152	7,906	8,246	1,428	766	662	173	22.3	51.8
57	16,434	7,945	8,489	1,071	428	643	222	22.0	52.2
58	16,377	8,095	8,282	1,407	512	895	194	21.5	49.7
59	15,645	7,531	8,114	1,374	465	909	210	22.2	48.6

(統計課・人口労働グループ)



## 丑年生まれの人

昭和60年の年男、年女は推計で1,006万人(総人口に占める割合8.4%)で、男494万人に対し、女は18万人多い512万人となっている。

丑年生まれの人を年齢別にみると、第1次ベビーブーム期に当たる昭和24年生まれが242万人で最も多く、以下、第2次ベビーブーム期の昭和48年生まれの207万人、昭和12年生まれ174万人、昭和36年生まれ156万人と続いている。

また、昭和60年に還暦を迎える大正14年生まれは128万人

となっている。

総人口を十二支別にみると、昭和59年の出生児数が新たに加わった子年の1,124万人が最も多い。これに続いて2位は亥年(1,108万人)、3位以下は丑年・申年(各1,006万人)、戌年・未年(各1,003万人)、巳年(989万人)、辰年(977万人)、寅年(968万人)、酉年(964万人)、卯年(953万人)となっており、午年が936万人と最も少ない。

午年の人口が少ないのは、昭和41年及び明治39年の「丙午」の年の出生児数が、特に少なかったためである。

表一 丑年生まれの人 (推計)

(昭和60年1月1日現在)

生まれた年	年 齢 <sup>*</sup>	男女計		男		女	
		万人	%	万人	%	万人	%
総 数		1,006	100.0	494	100.0	512	100.0
昭和48年	12 歳	207	20.6	106	21.5	101	19.7
〃 36 〃	24 歳	156	15.5	79	16.0	77	15.0
〃 24 〃	36 歳	242	24.1	121	24.5	121	23.6
〃 12 〃	48 歳	174	17.3	86	17.4	88	17.2
大正14年	60 歳	128	12.7	60	12.1	68	13.3
〃 2 〃	72 歳	73	7.3	31	6.3	42	8.2
明治34年	84 歳	24	2.4	9	1.8	15	2.9
〃 22年以前	96 歳以上	1	0.1	0	0.0	1	0.2

\* 誕生日を迎えた時の年齢

表二 十二支別人口とその順位

十二支別	人 口	総人口に占める割合	人口順位
子 (ね)	1,124	9.3	1
丑 (うし)	1,006	8.4	3
寅 (とら)	968	8.0	9
卯 (う)	953	7.9	11
辰 (たつ)	977	8.1	8
巳 (み)	989	8.2	7
午 (うま)	936	7.8	12
未 (ひつじ)	1,003	8.3	6
申 (さる)	1,006	8.4	4
酉 (とり)	964	8.0	10
戌 (いぬ)	1,003	8.3	5
亥 (い)	1,108	9.2	2

### 丑年の主な出来事

- 明治10年 西南戦争  
コレラ流行のため東京神田に下水道を建設
- 明治22年 大日本帝国憲法発布  
大阪、神戸で自転車流行
- 明治34年 天皇陛下誕生
- 大正2年 東北・北海道地方大凶作
- 大正14年 衆議院議員選挙法改正 (普通選挙法)

東京6大学リーグ開始

- 昭和12年 文化勲章制定  
ヘレン・ケラー、日本各地で講演
- 昭和24年 初の〈成人の日〉  
満年齢で数える法律公布  
湯川秀樹博士、ノーベル物理学賞を受賞
- 昭和36年 〈上を向いて歩こう〉流行
- 昭和48年 第1次石油危機、狂乱物価  
国民の祝日法改正で「振り替え休日」実施

# 主 要 経

## 茨 城 県

年 月	世 帯 と 人 口			金 融 機 関 預 貸 金 (増 減)		手 形 交 換 高 (8手形交換所分)		百 貨 店 売 上 高 (主要4店)	鉱 工 業 生 産 指 数 (鉱工業総合 季調済指数)
	世 帯	人 口	人 口 増 加 率	実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額		
	世 帯	人	%	億 円		千 枚	百 万 円	百 万 円	昭55年=100
昭和56年	707 109	2 593 882	14.02	4 762	1 598	2 461	2 161 940	39 846	100.3
57	722 762	2 632 409	14.85	4 399	1 866	2 396	2 254 110	42 302	100.3
58	737 273	2 665 239	12.47	3 797	2 287	2 358	2 349 467	43 349	105.1
58.11	738 317	2 667 778	0.78	835	117	189	180 328	3 523	109.9
12	739 054	2 669 853	0.91	2 444	1 004	235	223 527	5 458	109.1
59. 1	739 445	2 672 291	0.54	△2 128	△ 565	166	212 355	3 727	110.7
2	739 885	2 673 721	0.49	△ 56	332	188	182 524	3 411	108.6
3	740 070	2 675 022	△ 1.72	3 107	1 220	200	195 668	3 264	112.1
4	738 422	2 670 424	2.74	△1 985	△ 497	175	219 004	3 608	115.6
5	744 599	2 677 732	1.20	131	△ 644	222	232 586	3 485	116.7
6	746 334	2 680 943	0.86	1 338	380	197	218 529	3 305	115.5
7	747 183	2 683 245	0.81	168	379	204	208 738	4 111	114.4
8	747 667	2 685 412	1.23	△ 144	152	194	199 581	3 081	112.1
9	748 366	2 688 710	0.74	2 851	1 444	167	178 312	3 083	112.8
10	748 952	2 690 696	0.98	△2 336	△ 827	211	252 174	3 845	118.4
11	749 843	2 693 325	...	838	△ 59	188	191 023	3 579	...
資 料	県 統 計 課			日 本 銀 行 水 戸 事 務 所				水戸財務部	

## 全 国

年 月	人 口		銀 行 券 発 行 高	全 国 銀 行 勘 定		手 形 交 換 高		百 貨 店 売 上 高	鉱 工 業 生 産 指 数 (鉱工業総合 季調済指数)
	人 口	人 口 増 加 率		実 質 預 金	貸 出 金	枚 数	金 額		
	千人	%	億 円 (年月末)		千 枚	億 円	億 円	昭55年=100	
昭和56年	117 884	7.04	202 377	1 580 008	1 512 137	427 170	15 695 778	60 552	101.0
57	118 693	6.86	214 260	1 694 784	1 676 775	423 851	17 950 091	62 461	101.3
58	119 483	6.66	224 660	1 827 976	1 863 463	417 709	19 139 471	63 664	104.9
58.10	119 483	0.59	184 094	1 729 060	1 780 651	34 319	1 700 080	5 324	107.6
11	119 554	0.50	188 153	1 783 372	1 802 481	33 645	1 640 170	5 291	109.0
12	119 613	0.03	224 660	1 827 976	1 863 463	42 154	2 124 228	9 702	110.3
59. 1	119 617	1.02	190 038	1 775 142	1 856 192	29 380	1 686 814	4 498	110.5
2	119 738	0.03	191 437	1 796 114	1 872 036	32 781	1 703 882	4 236	114.2
3	119 743	0.54	196 268	1 864 214	1 905 875	35 153	2 117 697	5 510	112.7
4	119 808	0.38	199 512	1 840 465	1 912 288	30 561	1 867 976	5 074	113.6
5	119 853	0.86	185 460	1 872 264	1 906 420	38 558	1 919 123	4 869	116.3
6	119 956	0.51	205 655	1 882 090	1 935 611	34 491	1 826 607	4 893	116.9
7	120 018	...	196 962	1 869 477	1 961 226	37 210	1 746 439	6 883	117.2
8	p 120 040	...	191 401	1 877 039	1 976 388	34 314	1 793 229	4 335	118.0
9	p 120 160	...	196 284	1 948 800	2 031 317	30 294	1 825 470	4 623	116.8
10	p 120 250	...	189 248	1 872 709	2 007 241	37 592	2 076 484	5 427	120.6
資 料	総務庁統計局		日 本 銀 行 調 査 統 計 局				通 産 省		

(注) ※は年度数値。世帯と人口の各年の数値は10月1日現在、人口増加率は10月1日～翌年9月30日。  
 全国の産業用大口電力消費量は9電力会社の計。  
 昭和58年11月から59年2月までの鉱工業生産指数(茨城県)は年間補正後の指数である。

# 済 指 標

## 茨 城 県

調査産業 平均賃金	賃金指数	雇用指数	有 効 求人倍率	消 費 者 物 価 指 数 (水戸市)	家計消費支出 (水戸市) (勤労者)	産 業 用 電力消費量 (50kW以上)	建 築 着 工		年 月
							工 事 費 額	床 面 積	
サ ー ビ ス 業 を 含 む			倍	昭55年=100	円	千kWh	百万円	千m <sup>2</sup>	
円	昭55年=100								
262 465	104.7	102.5	※1.00	105.4	261 867	※6 229 198	533 134	5 201	昭和56年
268 922	109.6	104.7	※0.87	108.5	288 179	※6 558 883	571 792	5 323	57
276 654	113.6	105.0	※0.89	110.9	297 569	※7 000 781	533 199	4 929	58
215 099	88.3	105.2	0.98	112.5	267 628	613 744	39 252	371	58.11
617 406	253.5	105.1	0.97	112.0	398 304	571 144	58 882	511	12
220 412	90.5	104.7	0.98	111.9	282 107	571 144	38 054	350	59. 1
215 535	88.5	104.7	1.00	112.3	242 514	605 366	51 543	482	2
241 529	99.2	104.9	1.02	113.5	291 649	611 705	50 550	433	3
226 900	93.2	107.4	0.95	113.2	289 973	587 415	44 149	436	4
220 166	90.4	106.9	0.87	113.7	267 041	594 052	38 500	401	5
470 838	193.3	107.1	0.86	112.2	288 631	594 542	44 234	420	6
329 619	135.3	106.8	0.89	112.5	296 373	635 222	69 693	598	7
229 901	99.4	106.2	1.04	111.0	279 525	617 341	57 734	516	8
223 430	91.7	106.5	1.11	114.3	281 788	625 072	46 951	439	9
224 879	92.3	106.6	1.11	115.2	...	639 378	p 58 217	p 562	10
...	...	...	1.09	114.8	...	636 087	...	...	11
県 統 計 課			県職業 安定課	県 統 計 課		東京電力 茨城支店	県 建 築 指 導 課		資 料

## 全 国

調査産業 平均賃金	賃金指数	雇用指数	有 効 求人倍率	消 費 者 物 価 指 数	家計消費支出 (勤労者)	産 業 用 大 口 電力消費量	建 築 着 工		年 月
							工 事 費 額	床 面 積	
サ ー ビ ス 業 を 含 む			季 調 済	昭55年=100	円	百万kWh	億円	千m <sup>2</sup>	
円	昭55年=100								
279 096	105.3	101.9	0.68	104.9	251 275	※187 720	224 816	202 714	昭和56年
288 738	110.0	103.1	0.61	107.7	266 063	※186 653	221 771	195 642	57
267 269	113.8	103.4	0.60	109.7	272 199	※192 106	216 649	189 280	58
p 229 214	p 87.8	p 103.5	0.61	111.3	260 834	16 407	17 043	19 511	58.10
p 234 917	p 90.0	p 103.4	0.62	110.6	250 489	16 138	19 218	16 078	11
p 666 432	p 255.4	p 103.1	0.63	110.3	395 819	16 217	18 341	15 927	12
p 237 781	p 91.1	p 102.4	0.64	110.6	252 782	15 729	12 454	11 072	59. 1
p 229 588	p 88.0	p 102.1	0.65	111.3	253 555	16 077	14 900	13 318	2
p 258 310	p 99.0	p 102.0	0.64	111.6	298 447	16 892	17 404	15 397	3
p 240 757	p 92.2	p 104.7	0.64	111.9	285 629	15 949	20 133	18 060	4
p 234 886	p 90.0	p 104.6	0.64	112.7	264 076	16 265	18 117	16 390	5
p 426 714	p 163.6	p 104.5	0.64	111.8	269 312	16 937	20 933	18 522	6
p 418 836	p 160.5	p 104.3	0.64	112.0	296 846	17 370	22 200	19 285	7
p 259 004	p 99.3	p 103.9	0.64	111.0	271 712	16 649	19 724	17 109	8
p 236 453	p 90.6	p 103.7	0.64	112.8	259 079	16 794	19 398	16 964	9
p 239 458	p 91.7	p 103.7	0.65	113.7	...	p 17 251	p 20 034	p 17 380	10
労 働 省			総 務 庁 統 計 局		通 産 省		建 設 省		資 料

# 1. 世帯, 人口および人口移動

(単位: 世帯, 人)

年月日	世帯数	人 口			対前年(月) 増減数	人 口 移 動			
		総 数	男	女		自 然 動 態		社 会 動 態	
						出 生	死 亡	転 入	転 出
56.10.1	707 109	2 593 882	1 290 586	1 303 296	36 555	35 766	16 880	130 546	112 877
57.10.1	722 762	2 632 409	1 310 368	1 322 041	38 123	35 731	17 006	134 323	114 925
58.10.1	737 273	2 665 239	1 327 120	1 338 119	31 179	35 462	17 197	126 338	113 424
58.11.1	738 317	2 667 778	1 328 441	1 339 337	2 539	2 979	1 356	8 524	7 608
12.1	739 054	2 669 853	1 329 360	1 340 493	2 075	2 933	1 467	7 921	7 312
59. 1.1	739 445	2 672 291	1 330 436	1 341 855	2 438	2 992	1 551	7 887	6 890
2.1	739 885	2 673 721	1 331 011	1 342 710	1 430	2 940	1 871	6 433	6 072
3.1	740 070	2 675 022	1 331 595	1 343 427	1 301	2 772	1 652	7 716	7 535
4.1	738 289	2 670 424	1 328 788	1 341 636	△4 598	2 980	1 679	20 463	26 362
5.1	744 599	2 677 732	1 333 091	1 344 641	7 308	2 613	1 426	21 531	15 407
6.1	746 334	2 680 943	1 334 750	1 346 193	3 211	3 108	1 486	9 817	8 228
7.1	747 183	2 683 245	1 335 870	1 347 375	2 302	2 822	1 276	7 663	6 907
8.1	747 667	2 685 412	1 336 997	1 348 416	2 167	3 023	1 277	8 097	7 676
9.1	748 366	2 688 710	1 338 633	1 350 077	3 298	3 245	1 352	9 011	7 606
10.1	748 952	2 690 696	1 339 616	1 351 080	1 986	2 897	1 178	6 945	6 678
11.1	749 843	2 693 325	1 341 013	1 352 312	2 629	1 744	1 437	8 691	7 806

(注) 人口移動のうち, 年別人口移動については各年の年間数値を, 月別人口移動については前月の月間数値を示す。

資料: 県統計課

# 2. 市町村別人口と世帯

(単位: 人, 世帯)

市町村	昭和55年 10月1日 人口総数	59 年 11 月 1 日			市町村	昭和55年 10月1日 人口総数	59 年 11 月 1 日		
		人口総数	対前月 増減数	世帯数			人口総数	対前月 増減数	世帯数
総 数	2 558 007	2 693 325	2 629	749 843	竜ヶ崎市	43 132	48 060	56	13 439
市 部	1 247 058	1 299 618	1 063	385 972	那珂湊市	33 324	33 095	△ 17	9 097
郡 部	1 310 949	1 393 707	1 566	363 871	下妻市	30 731	32 131	43	8 081
					水海道市	40 435	41 240	30	10 150
水戸市	215 566	226 431	276	75 299	常陸太田市	35 980	36 098	114	9 769
日立市	204 596	205 899	△ 32	65 671	勝田市	92 621	101 136	232	30 991
土浦市	112 517	118 897	135	36 523	高萩市	32 436	33 655	37	10 055
古河市	56 657	57 622	△ 33	16 782	北茨城市	47 670	50 180	△ 2	14 190
石岡市	47 829	48 816	31	14 060	笠間市	31 225	31 332	12	8 327
下館市	61 329	63 244	47	17 085	取手市	71 247	78 178	96	23 132
結城市	49 387	51 748	24	13 307	岩井市	40 381	41 856	14	10 014

市町村	昭和55年 10月1日 人口総数	59年11月1日			市町村	昭和55年 10月1日 人口総数	59年11月1日		
		人口総数	対前月 増減数	世帯数			人口総数	対前月 増減数	世帯数
東茨城郡	138 459	141 454	39	36 042	稲敷郡	159 022	179 001	244	46 620
常澄村	9 840	10 067	△ 9	2 314	江戸崎町	13 089	13 647	△ 4	3 479
茨城町	32 901	34 680	33	8 635	美浦村	13 509	13 996	45	3 840
小川町	18 027	18 295	6	4 292	阿見町	33 720	36 929	35	10 323
美野里町	19 337	20 441	10	5 263	牛久町	40 164	50 496	149	13 943
内原町	14 336	14 526	2	3 521	茎崎町	16 856	22 074	17	5 670
常北町	10 719	10 831	△ 1	2 893	新利根村	8 798	9 053	12	2 123
桂村	6 850	6 785	△ 9	1 816	河内村	11 516	11 258	△ 14	2 590
御前山村	5 205	5 074	2	1 356	桜川村	8 110	8 100	5	1 823
大洗町	21 244	20 755	5	5 952	東村	13 260	13 448	△ 1	2 829
西茨城郡	67 621	69 561	27	17 751	新治郡	117 402	125 380	296	35 093
友部町	26 515	28 055	42	7 481	出島村	17 821	18 139	49	4 344
岩間町	15 330	15 731	△ 6	4 045	玉里村	7 007	7 382	20	1 868
七会村	2 892	2 821	△ 3	675	八郷町	28 308	28 769	△ 17	6 418
岩瀬町	22 884	22 954	△ 6	5 550	千代田村	20 976	22 745	28	6 748
那珂郡	119 092	122 452	131	33 743	新治村	8 783	8 974	18	2 121
東海村	29 197	30 784	79	9 007	桜村	34 507	39 371	198	13 594
那珂町	37 624	39 734	44	10 679	筑波郡	108 956	120 418	259	32 559
瓜連町	7 144	7 067	3	1 825	谷田部町	29 405	35 634	104	11 653
大宮町	24 523	24 878	24	6 862	伊奈村	22 207	25 047	50	6 340
山方町	9 407	9 173	△ 11	2 559	谷和原村	10 710	11 501	13	2 638
美和村	5 796	5 601	△ 5	1 397	豊里町	11 473	12 167	32	2 781
緒川村	5 401	5 215	△ 3	1 414	筑波町	22 553	22 751	25	5 481
久慈郡	53 047	50 760	△ 2	13 723	大穂町	12 608	13 318	35	3 666
金砂郷村	10 724	10 308	3	2 737	真壁郡	77 809	79 271	54	18 917
水府村	7 702	7 384	△ 1	1 986	関城町	15 692	16 202	9	3 743
里美村	5 097	4 852	△ 9	1 332	明野町	17 679	18 003	26	4 361
大子町	29 524	28 216	5	7 668	真壁町	20 837	20 888	25	5 091
多賀郡	10 902	11 762	30	3 203	大和村	7 450	7 626	△ 6	1 685
十王町	10 902	11 762	30	3 203	協和町	16 151	16 552	—	4 037
鹿島郡	166 450	174 640	165	47 706	結城郡	51 825	53 759	46	12 195
旭村	10 564	10 769	12	2 374	八千代町	22 845	23 655	6	5 155
銚田町	27 466	27 857	14	6 877	千代川村	8 606	8 804	14	2 021
大洋村	9 701	9 847	21	2 316	石下町	20 374	21 300	26	5 019
大野村	12 533	13 088	△ 5	3 137	猿島郡	110 198	120 859	173	29 842
鹿島町	38 822	41 961	67	12 739	総和町	36 333	40 555	41	11 066
神栖町	32 253	35 552	17	10 592	五霞村	8 645	8 570	21	1 975
波崎町	35 111	35 566	39	9 671	三和町	24 701	30 138	103	7 301
行方郡	71 735	72 855	23	17 817	猿島町	14 823	15 277	△ 3	3 159
麻生町	18 155	18 059	1	4 215	境町	25 696	26 319	11	6 341
牛堀町	6 792	6 744	11	1 700	北相馬郡	58 431	71 535	81	18 660
潮来町	22 283	23 340	17	6 263	守谷町	17 585	22 890	41	5 961
北浦村	10 954	11 095	△ 8	2 426	藤代町	26 468	29 108	—	7 856
玉造町	13 551	13 617	2	3 213	利根町	14 378	19 537	40	4 843

(注)「人口増加」は、S 55.11.1 以降、住民基本台帳及び外国人登録原票に基づいたもので、外国人も含まれる。(1.世帯、人口及び人口移動も同じ)

資料：県統計課

### 3. 産業別賃金指数

(昭和55年=100)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸 売 小 売 業	金 融 保 険 業	運 輸 通 信 業	電気・ガス 水 道 熱 供 給 業	サービス業
	サービス 業を含む	サービス 業を除く							
昭和56年	104.7	105.7	106.2	106.6	96.9	108.2	107.2	109.0	101.8
57	109.6	112.6	120.9	112.4	104.1	119.9	114.0	116.4	101.8
58	113.6	117.4	124.2	117.6	108.0	129.6	117.4	119.8	103.8
58.10	88.2	91.5	98.5	92.5	83.3	84.0	97.6	89.2	79.5
11	88.3	91.8	107.9	93.1	87.4	84.5	89.1	89.8	78.8
12	253.5	260.2	247.5	259.3	234.5	375.9	239.0	276.3	237.0
59. 1	90.5	93.8	94.8	92.8	91.1	85.3	108.7	90.3	81.8
2	88.5	91.9	97.6	93.7	84.5	83.9	93.1	90.6	79.2
3	99.2	96.1	104.3	93.6	87.9	112.4	105.4	105.9	111.2
4	93.2	95.9	106.9	95.3	86.7	84.7	112.3	90.9	86.2
5	90.4	94.0	103.6	96.5	87.3	84.9	89.0	95.8	80.6
6	193.3	194.0	247.4	191.9	137.4	246.8	198.2	267.0	194.8
7	135.3	149.6	137.2	156.5	157.5	163.4	113.9	92.3	92.5
8	99.4	99.1	105.1	101.6	94.7	86.1	96.1	91.9	81.2
9	91.7	95.0	100.5	98.1	88.3	82.9	89.1	93.8	83.1
10	92.3	95.9	102.9	96.9	87.7	81.4	104.8	92.6	82.7

(注) (1) 規模30人以上の事業所。(2) 名目賃金指数。

資料：県統計課

### 4. 産業別雇用指数

(昭和55年=100)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸 売 小 売 業	金 融 保 険 業	運 輸 通 信 業	電気・ガス 水 道 熱 供 給 業	サービス業
	サービス 業を含む	サービス 業を除く							
昭和56年	102.5	102.6	106.3	102.0	106.5	102.3	101.9	102.5	101.3
57	104.7	106.6	110.3	105.0	115.5	108.1	107.5	103.0	97.6
58	105.0	106.9	102.7	105.4	124.4	106.9	107.6	101.9	97.8
58.10	104.9	106.7	97.4	105.7	124.6	107.6	102.1	100.5	97.9
11	105.2	107.1	101.3	106.1	124.3	107.1	102.5	100.0	97.9
12	105.1	107.0	102.4	106.0	123.5	106.6	102.7	99.5	97.9
59. 1	104.7	106.6	102.3	105.6	122.1	105.9	102.3	99.1	97.7
2	104.7	106.6	101.8	105.7	120.9	106.4	103.3	98.9	97.4
3	104.9	106.9	102.4	106.2	120.5	106.4	103.7	98.7	97.0
4	107.4	109.4	103.5	109.0	124.9	109.9	103.0	99.6	99.7
5	106.9	108.7	100.0	108.5	123.2	111.2	101.9	99.6	100.0
6	107.1	108.9	102.5	108.7	122.8	111.0	102.3	100.1	100.3
7	106.8	108.5	101.6	108.3	122.4	110.6	101.7	99.7	100.2
8	106.2	107.9	102.5	108.2	120.0	110.9	99.6	99.2	99.5
9	106.5	108.4	101.6	108.2	120.8	112.3	102.1	99.7	99.6
10	106.6	108.5	104.2	108.4	119.9	112.1	102.4	98.1	99.3

(注) (1) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

## 5. 産業別労働時間

(単位：1人1ヵ月当たり、時間)

年 月	調査産業計		建設業	製造業	卸 売 小 売 業	金 融 保 険 業	運 輸 通 信 業	電気・ガス 水 道 熱供給業	サービス業	所 定 内 労働時間 調査産業計 (サービス 業を含む)
	サービス 業を含む	サービス 業を除く								
昭和56年	176.3	177.8	193.2	178.2	164.1	162.6	186.3	185.4	171.9	161.2
57	174.9	176.1	183.8	178.9	166.2	158.8	173.7	170.9	170.5	159.3
58	176.2	176.7	183.7	181.2	167.9	157.9	166.4	167.3	173.9	160.1
58.10	177.9	178.4	195.8	183.0	164.4	160.6	168.7	166.8	175.8	160.4
11	179.1	180.2	191.8	186.5	165.9	153.5	166.4	165.7	174.7	161.8
12	180.3	182.1	184.8	188.4	169.5	164.7	167.4	164.0	173.2	163.2
59. 1	160.7	160.6	178.7	161.7	157.3	145.4	155.4	158.5	161.4	146.2
2	178.3	179.1	184.2	184.9	167.5	153.9	166.6	170.4	175.1	160.6
3	179.0	179.3	190.4	183.0	168.6	164.1	170.3	176.2	177.8	160.3
4	186.9	189.0	193.9	196.9	177.7	156.8	167.8	166.8	178.7	168.6
5	168.9	167.2	181.2	167.4	164.8	162.4	163.6	171.6	175.2	151.9
6	189.2	189.6	192.7	196.8	176.7	157.1	175.9	171.6	187.8	171.1
7	183.8	184.5	202.0	188.6	175.7	163.1	170.3	174.3	181.2	166.3
8	165.5	166.8	189.5	164.0	168.0	156.9	175.3	169.4	160.7	149.3
9	180.9	182.8	180.7	191.3	170.5	142.6	165.9	160.7	173.2	162.7
10	180.7	180.4	195.8	184.8	164.5	158.7	173.4	178.8	182.1	162.5

(注) (1) 規模30人以上の事業所。

資料：県統計課

## 6. 職業紹介状況

(単位：件)

年度・月	一 般 職 業 紹 介 (パートタイムを含まない)						
	新規求人数 (A)	新規求職 申込件数(B)	有効求人数 (月平均) (C)	有効求職者数 (月平均) (D)	就職件数	新規求人倍率 (A/B)	有効求人倍率 (C/D)
昭和56年度	73 184	65 918	20 948	21 034	20 032	1.11	1.00
57	69 799	73 037	20 436	23 586	20 830	0.96	0.87
58	80 263	71 957	21 559	24 284	22 175	1.12	0.89
58.11	5 779	4 923	23 111	23 618	1 851	1.17	0.98
12	4 509	3 578	20 686	21 329	1 436	1.26	0.97
59. 1	8 091	6 133	21 612	22 085	1 545	1.32	0.98
2	7 376	6 095	22 563	22 633	1 984	1.21	1.00
3	7 696	6 872	24 502	23 956	2 241	1.12	1.02
4	6 531	7 594	23 655	24 926	2 033	0.86	0.95
5	6 824	6 921	22 222	25 415	2 095	0.99	0.87
6	6 228	5 672	21 219	24 623	1 884	1.10	0.86
7	7 940	6 220	22 140	24 903	1 998	1.28	0.89
8	9 553	5 953	25 497	24 473	1 994	1.60	1.04
9	8 890	6 175	27 362	24 693	2 088	1.44	1.11
10	7 728	6 330	26 858	24 274	2 173	1.22	1.11
11	6 124	4 800	24 857	22 753	2 033	1.28	1.09

(注) 学卒・日雇・パートタイムは除く。

資料：県職業安定課



## 7. 農産物の平均販売価格

(単位：円)

年度・月	うるち米 (自由売) (玄米60kg)	生乳 (飲用10kg)	鶏卵 (10kg)	豚肉 (生体10kg)	肉用牛 (去勢肥育) (和牛・壮令) (生体10kg)	乳子牛 (めす、生後) (6カ月) (ホルスタイン) (純種)	ブロイラー (生体10kg)
昭和56年度	21 102	1 029	2 883	4 229	15 278	102 778	2 937
57	21 181	1 041	2 376	4 538	16 958	111 250	2 867
58	21 556	1 018	2 299	4 368	16 150	116 250	2 569
58.11	21 167	1 020	2 435	3 680	16 000	120 000	2 533
12	21 000	1 020	2 725	3 832	16 000	120 000	2 533
59. 1	21 333	970	2 205	4 017	15 000	100 000	2 533
2	21 333	953	2 945	4 419	15 000	95 000	2 550
3	22 333	953	2 545	4 277	15 000	86 666	2 617
4	22 333	957	2 370	4 598	15 000	86 666	2 563
5	22 333	1 000	2 070	4 550	15 000	80 000	2 625
6	22 833	1 000	2 045	4 583	14 800	80 000	2 630
7	22 833	1 030	2 035	4 795	14 800	80 000	2 592
8	21 667	1 030	2 035	5 057	15 600	80 000	2 637
9	21 167	1 043	2 810	4 723	15 800	83 333	2 652
10	21 000	1 033	2 280	4 393	16 000	83 333	2 577
11	20 000	1 023	2 400	4 050	15 800	83 333	2 563

年 月	だいこん (1kg)	にんじん (1kg)	はくさい (1kg)	キャベツ (1kg)	ねぎ (1kg)	トマト (1kg)	きゅうり (1kg)	ピーマン (1kg)	レタス (1kg)
昭和56年	50	87	35	70	150	184	187	329	188
57	52	73	32	63	149	166	172	296	154
58	55	92	34	55	200	192	199	354	193
58.11	41	76	24	50	129	228	219	285	179
12	47	59	27	74	85	330	327	286	217
59. 1	79	78	45	139	123	306	376	385	363
2	137	100	63	178	212	243	379	782	569
3	196	107	121	200	256	284	307	642	407
4	148	176	95	186	263	249	238	481	185
5	59	222	65	56	217	209	143	303	63
6	32	135	44	18	197	112	136	197	75
7	46	155	76	35	212	113	74	216	111
8	59	131	62	39	143	151	111	158	127
9	48	107	82	34	185	107	154	173	124
10	65	81	39	30	139	190	143	159	86
11	33	67	20	29	121	134	253	169	67

(注) (1) 価格は、それぞれの主産地における生産者販売価格である。資料：農林水産省茨城統計情報事務所 (TEL0292-31-2266)  
 (2) 野菜は、水戸市公設地方卸売市場の卸売価格による。水戸市公設地方卸売市場 (TEL0292-26-2331)  
 (3) 年(度)価格は、年(度)の加重平均値である。

# 8. 鉱工業指数 (季節調整済指数)

## 1. 生産指数

(昭和55年=100)

年月	鉱工業													化学工業
	品目数	7	268	20	13	18	95	33	39	15	8	19	35	
ウエイト	10 000.0	9.8	990.2	113.0	691.5	440.9	3719.7	1266.9	1803.7	435.8	213.3	637.5	883.0	
昭和56年	100.3	85.4	100.3	95.8	108.5	84.1	107.0	93.1	115.5	107.1	117.7	101.6	91.8	
57	100.3	44.1	100.4	96.3	112.9	82.6	107.7	89.8	121.0	101.6	114.0	95.1	85.1	
58	105.1	41.9	105.2	91.8	111.8	89.3	117.5	96.1	136.5	94.0	132.7	99.3	96.5	
58.10	109.9	44.3	109.9	92.5	110.8	86.2	127.7	110.4	145.3	99.9	114.9	102.2	107.8	
11	109.9	43.5	110.0	93.4	110.0	86.2	125.8	107.3	145.8	98.5	129.6	103.0	109.0	
12	109.1	38.9	109.2	95.1	106.1	88.0	123.0	90.9	148.7	100.0	139.5	102.2	109.7	
59.1	110.7	35.4	110.8	94.0	111.2	89.7	125.9	87.9	163.7	76.0	144.5	103.1	109.5	
2	108.6	39.3	108.7	101.2	101.4	85.3	117.5	82.7	151.7	86.3	121.4	102.4	112.5	
3	112.1	39.6	112.2	100.4	101.9	90.8	127.8	93.3	162.1	84.9	121.4	106.1	102.7	
4	115.6	34.4	115.7	93.0	117.5	81.0	137.8	89.9	182.2	95.2	133.6	108.3	101.0	
5	116.7	38.9	116.7	101.4	120.8	82.3	119.6	91.9	144.9	78.1	136.5	148.8	128.9	
6	115.5	40.0	115.6	99.2	108.0	90.4	135.4	90.3	180.3	85.7	136.6	139.8	99.6	
7	114.6	39.7	114.6	106.0	118.4	85.3	125.3	86.6	162.4	88.4	132.3	141.7	115.6	
8	111.6	33.1	111.7	98.1	114.1	94.1	121.5	91.7	147.8	87.2	144.6	143.1	117.5	
9	112.7	46.3	112.8	93.2	107.6	95.7	127.2	87.1	158.8	94.2	159.6	141.8	111.9	
10	118.4	39.8	118.5	105.0	113.8	91.5	133.4	94.7	166.8	93.4	143.0	140.5	119.1	
対前月増減率 <sup>(%)</sup>	5.0	△13.8	5.0	12.7	5.7	△4.4	4.9	8.7	5.1	△0.8	△10.4	△0.9	6.5	
対前年同月増減率	7.8	△10.0	7.8	13.5	2.6	6.2	4.4	△14.2	14.8	△6.5	24.5	37.5	10.5	

年月	鉱工業										公益事業	産業総合
	製造工業											
	石油製品工業	パルプ紙・紙加工工業	繊維工業	木材製品工業	食料品たばこ工業	その他の工業	ゴム製品	皮革製品	プラスチック製品	その他製品		
品目数	10	7	10	2	19	20	4	2	11	3	2	277
ウエイト	234.9	221.0	223.0	136.5	954.0	735.2	99.4	37.2	457.0	141.6	188.3	1188.3
昭和56年	93.5	92.0	102.1	93.4	97.4	93.8	98.8	94.4	95.6	84.5	103.7	100.7
57	80.9	102.1	100.5	97.5	99.6	98.5	106.3	82.9	100.8	89.5	110.7	101.4
58	86.2	108.9	97.9	94.0	98.7	99.3	109.8	84.2	105.9	74.6	119.3	106.6
58.10	84.7	114.3	98.3	89.2	95.6	102.4	114.5	84.2	110.1	73.7	93.5	108.7
11	86.0	111.7	100.7	89.8	99.4	105.2	119.1	78.0	110.8	83.9	101.8	109.1
12	90.2	114.2	96.5	90.8	96.9	108.2	120.0	76.4	114.4	90.5	103.5	108.9
59.1	88.0	108.8	89.4	88.4	101.7	107.3	125.8	73.1	110.3	91.4	114.5	110.8
2	99.8	113.0	93.5	95.0	106.4	107.9	123.8	81.2	108.8	98.8	119.1	110.3
3	90.8	112.2	97.6	84.0	105.8	107.1	129.5	91.6	109.8	87.1	139.4	114.9
4	102.8	112.1	95.5	85.8	106.7	107.4	120.9	76.1	115.2	80.3	136.7	117.6
5	127.3	114.3	96.3	88.3	109.7	107.7	128.5	92.1	113.7	78.1	113.8	115.9
6	97.5	115.4	95.1	90.7	97.2	103.7	132.0	96.8	109.4	70.9	115.6	115.3
7	90.5	120.9	94.1	86.0	105.7	101.3	128.4	79.3	110.6	60.9	143.8	117.3
8	93.0	113.8	92.4	84.6	96.3	103.9	129.6	97.3	108.2	74.7	142.5	115.5
9	75.6	113.3	93.1	84.2	98.9	105.4	124.7	84.8	113.2	71.1	130.5	114.5
10	85.1	121.3	91.9	87.9	105.4	105.1	112.9	86.6	111.4	84.7	165.8	122.8
対前月増減率 <sup>(%)</sup>	12.6	7.1	△1.3	4.4	6.6	△0.3	△9.5	2.2	△1.7	19.1	27.0	7.2
対前年同月増減率	0.5	6.1	△6.5	△1.5	10.3	2.7	△1.4	2.9	1.2	15.0	77.3	13.0

(注) 年指数及び対前年同月増減率は原指数による。

資料：県統計課

# 8. 鉱工業指数 (季節調整済指数)

## 2. 出荷指数

(昭和55年=100)

年月	鉱工業													窯業 土石 製品工業	化学 工業	
	鉱工業	鉱業	製造 工業	鉄鋼業	非金 工業	鉄属 工業	金製 工業	属品 工業	機 械	機 械	一 般 機 械	電 機 機 械	輸 送 機 械			精 密 機 械
	品目数 270	7	263	17	12	18	95	33	39	15	8	19	35			
	ウエイト 10 000.0	5.7	9 994.3	1 184.6	807.7	404.7	3 090.5	1 106.3	1 425.2	411.6	147.4	426.4	908.1			
昭和56年	102.0	92.5	102.0	93.2	106.9	86.5	113.7	105.7	121.4	105.4	122.3	101.1	95.3			
57	104.2	49.1	104.2	101.1	115.0	102.3	115.6	105.3	128.5	98.0	117.8	95.7	90.0			
58	110.2	46.8	110.3	98.2	114.1	112.1	130.6	115.8	152.6	93.0	117.8	95.7	101.4			
58.10	114.9	53.1	114.9	102.6	114.7	112.9	147.7	144.6	170.0	96.1	115.2	96.8	106.8			
11	117.2	49.6	117.2	107.4	113.5	109.0	145.7	130.2	175.1	95.5	137.9	102.4	111.4			
12	114.7	45.2	114.7	106.5	114.1	112.6	135.4	100.8	175.6	101.2	141.1	99.8	110.5			
59. 1	111.7	38.4	111.7	99.6	121.2	100.6	134.7	88.8	190.5	78.7	152.1	91.4	105.1			
2	113.3	40.8	113.3	110.2	112.8	105.2	127.6	84.6	174.0	87.4	136.1	117.1	110.0			
3	117.5	43.2	117.5	102.8	105.6	114.1	141.8	110.6	182.6	86.4	123.1	116.6	98.2			
4	120.7	28.8	120.8	95.6	120.6	99.5	157.1	102.6	214.5	92.3	136.8	124.5	105.4			
5	121.1	43.8	121.2	110.1	124.8	103.2	143.0	117.2	175.0	77.8	140.4	138.4	120.1			
6	122.2	43.1	122.2	111.7	118.0	110.5	159.5	118.4	214.6	85.1	132.6	139.1	99.3			
7	120.6	43.7	120.6	119.6	115.2	114.3	146.2	117.6	187.5	88.9	140.5	153.5	116.1			
8	118.9	38.7	118.9	105.7	114.2	131.1	132.9	115.1	160.5	84.5	150.0	165.3	130.3			
9	115.7	46.7	115.7	109.2	113.2	r 118.0	137.5	101.8	177.5	94.6	r 162.5	150.1	r 121.4			
10	123.7	51.9	123.7	111.4	126.7	111.7	150.6	127.2	188.3	92.7	139.2	146.9	125.9			
(%) 対前月増減率	6.9	11.1	6.9	2.0	12.0	△5.3	9.5	24.9	6.1	△2.1	△14.3	△2.1	3.7			
対前年同月増減率	7.6	△2.3	7.6	8.6	10.5	△1.1	2.0	△12.1	10.7	△3.6	20.8	51.7	17.9			

年月	鉱工業										公益 事業	産 業 総 合
	製造工業											
	石油 製品工業	パル プ・紙 製品工業	織 維 工 業	木 材 製 品 工 業	食 料 品 た ば こ 工 業	其 他 の 工 業	ゴ ム 製 品	皮 革 製 品	プ ラ ス チック 製 品	其 他 製 品		
	品目数 10	6	10	2	19	20	4	2	11	3	2	272
	ウエイト 840.1	281.6	142.0	141.4	1 130.2	637.0	74.1	28.6	448.4	85.9	955.7	10 955.7
昭和56年	89.7	95.4	98.7	93.8	103.1	94.6	99.2	92.6	95.0	89.1	103.7	102.1
57	82.9	102.4	93.2	97.8	106.3	97.2	106.5	79.4	98.9	86.4	110.7	104.8
58	84.6	106.0	88.1	94.1	106.8	98.9	105.2	79.6	102.8	79.8	119.3	111.0
58.10	79.8	108.5	87.5	91.0	95.1	102.6	101.9	77.9	108.1	83.1	93.6	113.6
11	80.9	105.5	85.9	91.9	104.4	102.3	107.2	73.0	107.2	81.6	101.8	115.9
12	89.2	110.4	84.5	90.8	103.2	106.2	112.2	67.2	110.1	86.6	103.6	113.9
59. 1	85.9	109.7	76.0	84.6	100.2	100.2	107.9	71.7	104.4	75.8	114.5	111.8
2	94.2	109.0	80.0	87.7	114.3	98.4	114.4	79.0	99.2	87.0	119.1	113.8
3	89.4	108.0	83.2	85.9	124.2	101.2	118.2	85.7	102.8	82.8	139.4	118.6
4	102.7	108.1	83.7	83.9	98.3	103.2	118.1	70.1	106.2	87.7	136.7	122.1
5	111.0	113.9	85.7	89.2	103.3	103.6	122.9	88.7	107.3	77.2	113.8	120.4
6	104.3	111.8	83.3	90.4	95.2	104.4	125.9	89.5	105.8	77.8	115.6	121.5
7	84.3	119.3	78.9	86.6	105.4	101.6	121.6	72.2	104.0	82.1	143.7	122.5
8	93.0	114.2	86.5	86.8	113.7	102.9	121.1	94.0	105.7	84.2	142.5	121.7
9	76.3	116.3	80.0	87.4	r 103.6	101.1	110.3	77.2	105.9	79.3	130.5	r 117.0
10	78.6	127.9	75.8	90.9	111.8	101.6	110.2	74.4	106.0	81.5	165.7	126.9
(%) 対前月増減率	3.0	4.8	△5.3	4.0	7.9	0.5	△0.1	△3.6	0.1	2.8	26.9	8.4
対前年同月増減率	△1.4	12.4	△13.4	△0.2	17.5	△0.9	8.1	△4.5	△2.0	△1.9	77.1	11.7

(注) 年指数及び対前年同月増減率は原指数による。

資料：県統計課

## 8. 鉱工業指数 (季節調整済指数)

### 3. 在庫指数

(昭和55年=100)

年月	鉱工業														窯業 土石 製品工業	化学 工業	
	鉱業	製 工 業	鉄鋼業	非 金 工	鉄 属 業	金 属 工 業	機 械 業	機 械 業	一 般 機 械	電 機 機 械	輸 送 機 械	精 密 機 械	精 密 機 械	窯業 土石 製品工業			化学 工業
	品目数 186	7	179	18	10	12	27	17	6	1	3	3	3	16			35
	ウエイト 10 000.0	3.7	9 996.3	1 610.0	784.4	682.2	2 352.8	1 235.7	997.1	62.6	57.4	887.7	1 070.9				
昭和56年	101.2	21.5	101.2	119.7	97.9	79.9	112.6	122.3	101.2	76.9	138.8	112.2	95.3				
57	99.5	13.2	99.5	122.5	134.0	77.3	99.8	112.7	86.4	53.4	105.4	102.8	93.8				
58	90.1	34.4	90.1	101.5	120.3	83.2	90.0	101.1	75.4	35.9	163.3	91.1	82.6				
58.10	97.1	49.8	97.1	109.8	123.4	85.4	92.1	89.7	94.9	39.0	156.3	99.7	83.0				
11	92.1	51.7	92.1	103.1	123.3	83.7	89.3	91.4	86.8	33.9	160.5	96.4	81.9				
12	90.0	56.1	80.0	101.9	119.3	82.1	87.3	93.9	79.8	33.6	174.2	93.7	83.1				
59.1	92.7	42.4	92.7	102.9	123.3	87.7	86.0	99.5	70.6	39.6	172.6	93.8	86.6				
2	97.7	41.8	97.7	103.8	131.1	88.2	101.7	119.7	80.5	51.5	153.1	96.2	90.3				
3	102.9	45.9	103.0	117.1	126.2	90.6	108.0	116.3	94.9	50.0	160.8	99.4	97.5				
4	109.8	70.5	109.8	122.5	122.2	150.7	112.6	123.4	98.8	36.7	169.5	100.7	95.3				
5	112.5	66.3	112.5	116.2	124.1	144.1	118.0	123.2	113.0	27.5	182.6	117.8	105.6				
6	111.1	66.8	111.1	115.7	122.4	92.0	116.9	131.1	102.1	25.1	170.9	130.2	108.3				
7	112.6	65.4	112.6	109.4	133.6	83.4	117.8	122.7	114.3	26.6	154.3	130.7	111.9				
8	110.3	61.9	110.3	117.1	140.0	84.1	116.3	125.9	105.2	33.3	152.0	127.5	109.0				
9	r 109.9	68.7	110.0	105.9	r 138.0	79.0	116.8	122.1	114.8	29.9	150.7	129.0	104.2				
10	112.5	49.4	112.5	108.1	136.2	76.9	115.9	116.9	118.1	28.4	160.6	132.5	103.1				
対前月増減率 (%)	2.3	△28.1	2.3	2.0	△1.3	△2.7	△0.8	△4.2	2.9	△5.1	6.6	2.7	△1.0				
対前年同月増減率	15.9	△0.8	15.9	△1.6	10.4	△9.9	25.9	30.3	24.4	△27.3	2.7	32.9	24.2				

年月	鉱工業										公 益 事 業	産 業 総 合
	製 造 工 業											
	石 油 炭 製 品 工 業	パ ル プ 紙 ・ 紙 加 工 工 業	織 維 工 業	木 材 製 品 工 業	食 料 品 た ば こ 工 業	其 他 の 工 業	ゴ ム 製 品	皮 革 製 品	プ ラ ス チック 製 品	其 他 製 品		
	品目数 9	7	10	2	13	20	4	2	11	3		
	ウエイト 673.3	207.4	105.6	132.5	830.1	659.4	76.9	20.0	506.2	56.3	—	10 000.0
昭和56年	74.3	102.2	83.2	95.1	84.2	89.6	114.4	87.7	87.5	75.5	—	101.2
57	65.5	106.9	86.4	85.9	79.7	91.5	49.3	80.0	93.6	135.0	—	99.5
58	69.4	114.2	73.1	84.7	66.9	91.0	53.9	106.6	95.2	98.1	—	90.1
58.10	86.3	108.2	76.5	92.4	99.2	93.1	57.1	86.3	97.7	90.8	—	97.1
11	89.4	111.7	75.4	90.2	78.2	93.2	56.4	73.1	97.8	94.1	—	92.1
12	77.6	115.1	71.8	88.5	80.1	92.3	54.3	86.3	97.2	98.9	—	90.0
59.1	84.5	108.0	77.1	92.5	80.6	90.8	60.0	76.7	95.1	110.9	—	92.7
2	75.9	107.1	83.9	90.9	80.3	92.9	58.4	65.1	95.6	131.9	—	97.7
3	75.4	112.9	86.3	84.4	83.6	92.1	61.8	65.3	94.8	141.9	—	102.9
4	71.5	117.9	89.7	87.5	93.2	95.1	50.2	48.4	99.8	133.4	—	109.8
5	81.1	119.6	86.9	85.3	94.7	97.0	52.4	81.6	100.7	137.4	—	112.5
6	72.2	125.5	86.3	86.4	115.6	94.6	50.8	82.8	99.5	123.6	—	111.1
7	83.4	134.1	99.0	86.2	123.5	93.9	51.2	75.8	100.7	101.7	—	112.6
8	86.2	136.2	88.8	84.5	101.7	92.7	54.5	62.3	99.8	93.5	—	110.3
9	93.5	134.6	91.8	80.5	r 111.7	96.4	62.2	64.0	102.6	89.0	—	r 109.9
10	123.9	137.5	89.2	76.2	112.9	97.3	56.8	68.4	103.5	93.5	—	112.5
対前月増減率 (%)	32.6	2.1	△2.9	△5.4	1.1	1.0	△8.6	7.0	0.9	5.1	—	2.3
対前年同月増減率	43.7	27.0	16.6	△17.6	13.8	4.6	△0.6	△20.7	5.9	3.0	—	15.9

(注) 年指数及び対前年同月増減率は原指数による。

資料：県統計課

## 9. 産業別電力消費量

(単位：千Wh)

年度・月	総 数	農林・水産 養 殖 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	運 輸 通 信 業	電気・ガス 水 道 業	そ の 他 の 産 業
昭和56年度	6 229 198	10 355	38 371	32 714	5 312 338	156 889	158 168	520 363
57	6 558 883	10 488	21 373	39 794	5 596 762	157 457	165 235	567 774
58	7 000 781	12 684	20 855	57 369	5 975 540	164 246	179 466	590 621
58.11	613 744	982	1 781	5 890	525 960	13 764	14 235	51 132
12	571 144	1 297	1 817	3 160	488 560	15 332	15 824	45 154
59. 1	571 144	1 297	1 817	3 160	488 560	15 332	15 824	45 154
2	605 366	1 136	1 790	3 367	516 579	14 009	15 647	52 838
3	611 705	1 080	1 760	3 532	530 210	14 059	14 950	46 114
4	587 415	1 223	1 807	3 723	509 097	12 945	15 252	43 368
5	594 052	1 126	1 655	3 008	516 810	12 279	15 185	43 989
6	594 542	1 018	1 627	2 805	514 757	11 922	14 862	47 551
7	635 222	1 071	1 550	2 615	546 839	13 388	15 860	53 899
8	617 341	1 228	1 533	2 817	523 925	14 834	17 301	55 703
9	625 072	1 230	1 660	2 550	538 772	13 537	16 451	50 872
10	639 378	1 238	1 664	2 675	556 950	13 374	16 338	47 139
11	636 087	1 117	1 809	2 772	553 826	13 610	15 865	47 088

(注) 数値は東京電力茨城支店の50kw以上の電力販売量である。  
なお、東電以外の自家発電は含まれない。

資料：東京電力茨城支店 (TEL0292-25-1511)

## 10. 石油製品販売量

(単位：kℓ)

年 月	総 量	揮 発 油	ナ フ サ	ジェット 燃 料	灯 油	軽 油	重 油	う ち A 重 油
昭和56年	8 644 097	911 929	1 124 063	74 976	561 731	583 733	5 387 667	350 229
57	8 774 178	928 473	1 192 796	77 239	505 331	552 327	5 518 012	332 972
58	9 009 197	953 470	1 031 001	82 012	538 154	578 047	5 828 513	341 836
58. 9	717 817	75 704	69 169	5 200	31 698	47 652	488 394	24 701
10	653 829	78 016	95 992	8 448	31 598	47 137	392 638	24 505
11	713 045	79 220	79 739	6 600	40 042	52 204	448 240	28 218
12	970 111	97 635	113 616	7 800	89 538	58 692	602 830	43 541
59. 1	898 691	74 556	153 447	9 885	86 090	44 754	529 959	44 925
2	811 281	77 408	67 458	7 939	91 173	49 660	517 643	47 628
3	909 280	88 893	84 260	31 130	83 575	58 767	562 655	49 440
4	785 152	79 378	64 344	8	44 459	50 367	546 596	27 722
5	686 042	84 238	126 123	1 861	31 385	50 626	391 809	26 245
6	632 377	78 288	21 246	△1 813	27 598	48 437	458 621	23 862
7	743 568	83 928	34 324	1 043	29 081	50 764	544 427	22 244
8	800 815	99 501	43 449	5 000	37 192	53 901	561 772	26 086
9	709 837	71 942	79 071	5 749	25 952	45 911	481 212	19 301

(注) 石油製品製造・輸入業者22社(昭和53年23社)の販売業者向および消費者向販売量の計。

資料：茨城県石油商業組合  
(TEL0292-24-2421)

# 11. 金融機関別実質預金・貸出残高

(単位：億円)

年 月	総 額		銀 行		相 互 銀 行		信 用 金 庫		信 用 組 合	
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出
昭和56年末	44 030	22 336	24 975	11 688	4 412	2 976	4 691	2 834	3 151	2 153
57	48 441	24 220	27 525	12 664	4 805	3 187	5 148	3 036	3 550	2 525
58	52 237	26 391	29 697	13 881	5 166	3 517	5 538	3 316	3 932	2 795
58.11	49 794	25 387	28 605	13 287	4 878	3 368	5 286	3 218	3 683	2 670
12	52 237	26 391	29 697	13 881	5 166	3 517	5 538	3 316	3 932	2 795
59. 1	50 109	25 826	28 398	13 558	4 959	3 458	5 435	3 255	3 774	2 717
2	50 053	26 158	28 484	13 789	4 934	3 497	5 429	3 275	3 782	2 746
3	53 159	27 377	31 134	14 685	5 194	3 624	5 470	3 338	3 909	2 838
4	51 175	26 880	29 446	14 392	5 059	3 549	5 468	3 283	3 825	2 761
5	51 306	26 236	29 583	13 756	5 064	3 521	5 469	3 271	3 844	2 759
6	52 643	26 599	30 389	13 944	5 276	3 625	5 568	3 286	3 906	2 783
7	52 811	26 978	30 414	14 260	5 151	3 638	5 634	3 324	3 927	2 801
8	52 667	27 130	30 385	14 389	5 131	3 652	5 647	3 340	3 947	2 806
9	55 518	28 574	32 531	15 538	5 425	3 793	5 721	3 408	4 082	2 864
10	53 182	27 748	30 314	14 845	5 178	3 707	5 698	3 404	3 998	2 843
11	p54 020	p27 689	31 032	14 820	5 256	3 763	5 748	3 446	4 027	2 750

年 月	農 協		漁 協		そ の 他		郵 便 預 金 預 入 (総額には含まない)
	預 金	貸 出	預 金	貸 出	預 金	貸 出	
昭和56年末	5 586	1 611	91	120	1 124	955	664
57	6 040	1 687	88	121	1 285	1 000	626
58	6 382	1 726	92	106	1 431	1 049	731
58.11	5 920	1 705	93	102	1 328	1 036	379
12	6 382	1 726	92	106	1 431	1 049	731
59. 1	6 059	1 709	94	105	1 390	1 023	332
2	5 963	1 719	92	104	1 370	1 027	301
3	5 921	1 731	122	115	1 410	1 046	377
4	5 894	1 745	93	117	1 389	1 043	423
5	5 877	1 783	93	108	1 376	1 038	405
6	5 966	1 793	93	106	1 447	1 062	471
7	6 106	1 798	94	105	1 485	1 051	460
8	6 015	1 796	92	102	1 450	1 045	395
9	6 206	1 803	100	102	1 453	1 067	457
10	r 6 449	1 787	96	101	1 449	1 061	452
11	p 6 409	p 1 733	p 96	p 101	1 452	1 076	452

資料：日本銀行水戸事務所 (TEL.0292-24-2734)  
水戸郵便局調査課 (TEL.0292-21-2297)

## 12. 県内金融経済

年 月	国 庫 金 (億円)		銀 行 券 (億円)		手 形 交 換 高 (千枚)	不 渡 手 形 (枚)	信 用 保 証 (件)	
	受 入	支 払	発 行	還 収			保証承諾	代位弁済
昭和56年	7 817	10 003	6 218	5 833	2 461	14 984	23 840	601
57	8 492	10 335	6 537	5 944	2 396	12 531	22 906	548
58	9 053	10 571	6 742	5 962	2 359	10 931	22 856	619
58.11	718	1 088	463	335	189	927	2 088	32
12	917	957	1 327	488	235	963	3 348	62
59. 1	815	362	307	1 069	166	869	1 041	68
2	546	449	483	413	188	1 152	1 506	53
3	956	1 496	524	353	200	1 159	1 723	90
4	762	1 521	523	390	175	903	1 549	39
5	857	957	411	597	222	1 444	1 855	57
6	707	1 067	752	393	197	1 315	2 083	62
7	879	602	402	627	204	1 092	1 933	63
8	740	538	472	578	194	1 101	1 589	62
9	810	1 143	561	408	167	772	1 597	70
10	740	712	437	434	211	1 388	1 720	61
11	727	1 073	527	380	188	1 025	1 904	44

資料：日本銀行水戸事務所 (TEL 0292-24-2734)

## 13. 企業倒産状況

(単位：件, 万円)

年 月	総 数		建 設 業		製 造 業		卸・小売業		そ の 他	
	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額
昭和56年	126	2 185 300	41	419 600	27	816 000	44	866 700	14	83 000
57	101	1 452 800	35	375 400	11	329 400	42	561 700	13	186 300
58	139	1 534 600	44	424 700	22	290 700	47	578 900	26	240 300
58.12	16	140 800	2	13 000	—	—	7	63 500	7	64 300
59. 1	13	165 300	3	99 000	3	36 000	5	15 300	2	15 000
2	13	431 500	2	10 000	4	249 500	6	171 000	1	1 000
3	16	250 500	4	42 000	5	104 000	7	104 500	—	—
4	16	204 500	8	116 500	2	33 000	6	55 000	—	—
5	20	251 400	6	120 200	6	71 700	6	48 000	2	11 500
6	12	206 700	8	62 200	—	—	4	144 500	—	—
7	16	271 500	4	38 000	4	86 000	8	147 500	—	—
8	10	223 500	4	169 000	1	16 000	5	38 500	—	—
9	16	286 700	6	225 200	2	8 500	5	42 000	3	11 000
10	15	118 500	6	36 000	—	—	5	52 000	4	30 500
11	12	79 000	3	21 000	1	8 000	2	8 000	6	42 000
12	13	262 000	9	136 000	1	65 000	—	—	3	61 000

(注) 負債額1千万円以上。

資料：東京商工リサーチ水戸支店 (TEL 0292-24-2741)

# 14. 家計主要指標 (水戸市・全国)

(単位：円，%)

年 月	勤 勞 者 世 帯								全 世 帯		(6) 消費 者 物 価 指 数
	実 取 入	(1) 可 処 分 所 得	消費支出	(2) 黒 字	貯蓄純増	(3) 平均消費 性 向	(4) 実質実取 入 指 数	(4) 実質消費 支 出 指 数	消費支出	(5) エンゲル 係 数	
<b>水 戸 市</b>											
昭和56年	404 052	345 318	261 868	83 450	56 809	75.8	119.6	108.0	247 118	27.1	105.3
57	434 035	364 441	288 179	76 262	55 875	79.1	124.6	115.3	272 504	24.0	108.5
58	457 436	343 559	297 569	45 990	25 994	86.6	128.5	116.5	274 943	24.5	110.9
58. 9	335 365	271 861	245 265	26 596	△25 249	90.2	93.5	95.3	228 914	29.1	111.8
10	324 574	272 493	277 074	△4 581	△40 879	101.7	89.2	106.1	251 498	26.4	113.4
11	304 632	242 716	267 628	△24 912	△30 623	110.3	84.4	103.3	249 272	23.9	112.5
12	837 326	729 202	398 304	330 898	214 734	54.6	232.9	154.4	376 663	21.9	112.0
59. 1	318 480	272 386	282 107	△9 720	△24 428	103.6	88.7	109.5	275 846	21.1	111.9
2	317 661	259 633	242 514	17 119	18 269	93.4	88.1	93.8	233 270	26.4	112.3
3	382 960	316 833	291 649	25 183	12 486	92.1	105.1	111.6	274 754	24.7	113.5
4	348 980	287 709	289 973	△2 264	△10 502	100.8	96.1	111.2	263 595	24.1	113.2
5	348 844	282 940	267 041	15 899	10 558	94.4	88.0	102.0	238 487	28.8	113.7
6	639 559	528 995	288 631	240 364	161 814	54.6	177.6	111.7	274 551	25.2	112.2
7	481 077	403 471	296 373	107 098	94 540	73.5	133.2	88.5	276 053	25.3	112.5
8	337 598	286 410	279 525	6 885	766	97.6	94.8	109.4	257 799	27.7	111.0
9	375 357	320 286	281 788	38 498	47 013	88.0	102.3	107.1	255 140	27.3	114.3
<b>全 国</b>											
昭和56年	367 111	317 279	251 275	66 004	38 003	79.2	100.1	100.6	240 014	28.8	104.9
57	393 014	335 526	266 063	69 464	38 401	79.3	104.4	103.7	253 169	28.2	107.7
58	405 517	344 113	272 199	71 914	41 401	79.1	105.7	104.2	259 521	27.8	109.7
58. 9	328 658	276 812	241 939	34 873	8 570	87.4	85.2	92.1	232 929	30.5	110.3
10	331 328	279 220	260 834	18 386	1 618	93.4	85.1	98.4	251 318	29.2	111.3
11	334 266	282 607	250 489	32 118	8 615	88.6	86.4	95.1	245 112	28.2	110.6
12	865 287	755 982	395 819	360 162	265 330	52.4	224.3	150.7	364 450	26.2	110.3
59. 1	319 668	269 915	252 782	17 132	10 911	93.7	82.7	96.0	242 488	24.9	110.6
2	329 227	277 173	253 555	23 618	△10 980	91.5	84.6	95.7	239 290	27.9	111.3
3	375 893	318 920	298 447	20 473	105	93.6	96.3	112.3	279 729	26.2	111.6
4	346 189	285 637	285 629	8	△24 935	100.0	88.5	107.2	269 952	26.6	111.9
5	345 227	278 805	264 076	14 729	△7 619	94.7	87.6	98.4	253 006	28.5	112.7
6	555 372	470 107	269 312	200 795	116 394	57.3	142.1	101.2	250 545	28.3	111.8
7	505 891	431 700	296 846	134 855	105 633	68.8	129.2	111.3	274 773	26.7	112.0
8	365 998	310 868	271 712	39 156	12 653	87.4	94.3	102.8	258 853	28.7	111.0
9	347 232	294 365	259 079	35 286	9 185	88.0	88.0	96.5	245 874	29.3	112.8

(注) (1) 実収入 - 非消費支出 (2) 可処分所得 - 消費支出  
 (3) 消費支出 ÷ 可処分所得 (4) 当該項目(55年=100) ÷ 消費者物価指数  
 (5) 食料費 ÷ 消費支出 (6) 昭和55年=100

資料：総務庁統計局



# 15. 1ヵ月1世帯当りの実収入および実支出 (水戸市, 勤労者世帯)

(単位: 世帯, 人, 歳, 円)

年月	集計 世帯数	世帯 人員	有業 人員	世帯主 の年齢	実収入	勤め先 収入			その他の 実収入	実支出	消費支出
						うち 世帯主	妻	計			
昭和56年	68	3.85	1.40	42.8	404 052	379 168	347 813	24 456	24 884	320 602	261 868
57	64	3.62	1.46	45.4	434 035	405 292	368 136	32 724	28 743	357 773	288 179
58	59	3.66	1.56	41.1	412 651	384 659	343 948	35 093	27 992	366 661	297 569
58. 9	60	3.78	1.51	39.7	335 365	324 971	288 104	27 952	10 394	308 769	245 265
10	61	3.62	1.56	37.8	324 574	311 434	278 275	30 864	13 140	329 155	277 074
11	59	3.47	1.59	38.2	304 632	279 863	245 065	32 933	24 769	329 544	267 628
12	62	3.60	1.60	38.8	837 326	798 648	721 836	59 700	38 678	506 428	398 304
59. 1	61	3.61	1.52	38.0	318 480	270 908	246 086	24 330	47 572	328 201	282 107
2	66	3.64	1.55	38.3	317 661	300 225	269 207	27 834	17 436	300 542	242 514
3	65	3.68	1.54	39.0	382 960	347 161	308 345	32 729	35 799	357 777	291 649
4	64	3.70	1.61	39.2	348 980	321 447	283 029	35 038	27 533	351 244	289 973
5	64	3.80	1.67	39.8	348 844	322 677	281 383	36 963	26 167	332 945	267 041
6	64	3.73	1.59	41.6	639 559	623 755	569 682	45 408	15 804	399 194	288 631
7	63	3.75	1.59	42.0	481 077	461 303	419 167	38 443	19 774	373 979	296 373
8	63	3.70	1.60	42.4	337 598	308 104	280 897	23 725	29 494	330 713	279 525
9	64	3.66	1.66	43.6	375 357	313 136	276 483	33 398	62 221	336 858	281 788

年月	実 支 出											非消費 支 出
	消 費					支 出					その他の 消費支出	
	食 料	住 居	光 熱・ 水 道	家 具・ 家事用品	被 服 及 び 履 き 物	保 健 医 療	交 通 通 信	教 育	教 娯 養 楽	その 他の 消費支出		
昭和56年	66 434	10 047	14 222	10 405	20 922	6 817	22 439	7 264	24 519	78 798	58 735	
57	65 646	10 837	14 230	12 214	22 694	5 601	31 629	8 242	25 764	91 323	69 594	
58	64 814	17 507	14 523	10 782	20 793	8 522	34 536	9 278	24 141	92 674	69 091	
58. 9	64 080	16 560	10 662	7 418	14 760	5 660	44 640	7 276	20 057	54 153	63 504	
10	62 630	16 198	10 594	10 939	15 506	4 960	53 132	5 617	28 548	68 952	52 081	
11	57 427	21 629	12 428	9 227	21 379	9 743	33 389	7 919	18 597	75 891	61 916	
12	78 571	10 792	16 250	21 108	28 584	14 180	64 477	13 231	32 322	118 790	108 124	
59. 1	55 439	7 478	13 910	36 462	15 181	4 900	22 691	7 312	22 156	96 577	46 094	
2	61 660	8 092	19 276	6 607	19 284	5 854	32 423	8 684	29 929	50 705	58 029	
3	70 890	12 232	20 073	8 103	21 209	12 235	27 254	10 890	25 245	83 520	66 128	
4	65 570	8 076	14 173	7 467	22 552	6 571	36 484	12 882	23 168	93 030	61 271	
5	71 854	18 948	15 507	4 980	19 125	10 386	21 656	12 169	26 782	65 250	65 904	
6	72 220	14 364	16 379	27 471	16 189	6 189	21 313	9 660	21 682	83 182	110 563	
7	72 435	13 517	12 887	13 466	22 020	6 680	22 043	10 704	22 551	100 069	77 606	
8	72 421	16 679	12 640	11 480	21 276	6 613	33 901	4 304	20 185	80 027	51 188	
9	72 478	16 561	12 191	12 449	17 165	6 695	29 026	7 951	20 309	86 963	55 070	

資料: 総務庁統計局

## 16. 消費者物価指数（水戸市）

（昭和55年=100）

年 月	総 合	対 前 月 上 昇 率 (%)	対 前 年 (同 月) 上 昇 率 (%)	食 料	穀 類	魚 介 類	肉 類	野 菜 海 草	外 食	住 居
57	108.5	—	3.0	108.8	109.4	118.0	107.2	105.3	108.7	108.5
58	110.9	—	2.2	112.3	113.7	116.6	106.6	120.1	114.5	112.2
58.11	112.5	△ 0.8	1.6	112.7	116.2	112.8	103.9	118.4	116.3	113.3
12	112.0	△ 0.4	1.4	112.2	116.3	114.0	104.6	118.4	116.3	113.5
59. 1	111.9	△ 0.1	2.0	114.0	116.2	115.1	104.5	131.6	116.9	113.7
2	112.3	0.4	2.5	116.3	117.6	113.3	104.9	152.6	116.9	113.7
3	113.5	1.1	2.8	118.1	117.6	117.3	105.0	160.0	116.9	113.4
4	113.2	△ 0.3	2.3	116.5	117.6	118.0	103.9	147.9	117.9	112.9
5	113.7	0.4	2.1	116.6	117.6	111.8	105.0	137.8	120.7	113.0
6	112.2	△ 1.2	1.9	113.3	117.6	109.8	105.8	112.8	120.7	112.2
7	112.5	0.3	2.6	114.5	117.8	109.4	105.8	124.0	121.3	112.4
8	111.0	△ 1.3	1.6	113.4	117.8	114.2	108.4	109.0	121.3	113.3
9	114.3	3.0	2.2	116.5	117.8	117.9	110.8	122.6	121.3	113.4
10	115.2	0.8	1.6	117.0	118.5	112.8	109.0	112.9	121.4	113.7
11	114.8	△ 0.3	2.0	115.1	119.1	113.7	107.6	108.9	121.4	113.9

年 月	光 熱・ 水 道	家 具・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 き 物	保 健 医 療	交 通 通 信	自 動 車 等 関 係 費	教 育	教 養 娛 楽	諸 雑 費	生 鮮 食 品 を 除 く 総 合
57	110.6	107.2	105.5	104.8	107.9	106.8	118.3	108.4	107.0	108.3
58	109.0	105.8	107.4	106.0	107.8	104.1	125.5	111.4	110.9	110.4
58.11	108.3	106.3	118.1	108.7	107.5	104.2	127.5	113.1	112.6	112.4
12	107.1	106.3	117.2	108.7	107.0	103.1	127.6	112.8	112.6	112.2
59. 1	107.1	106.2	109.0	109.1	106.9	102.9	127.6	112.5	112.7	111.4
2	107.9	105.5	104.4	109.1	106.7	102.6	127.6	112.4	111.4	110.9
3	107.9	105.6	107.1	108.8	106.8	102.6	127.6	114.3	112.5	111.5
4	107.9	106.4	108.4	108.8	106.8	102.6	133.4	113.8	112.7	111.8
5	107.9	105.4	109.4	108.8	108.7	102.9	133.4	115.0	112.7	112.7
6	107.7	106.5	110.2	108.9	108.2	102.0	134.0	113.6	111.4	112.6
7	107.3	106.8	107.5	108.9	108.2	101.6	134.0	113.5	112.7	112.4
8	107.3	106.6	95.1	108.9	108.1	101.7	134.0	114.0	112.7	111.3
9	107.3	107.2	116.1	108.9	109.1	104.2	134.0	113.9	112.7	113.9
10	107.3	107.7	121.0	113.7	108.9	103.6	134.2	114.5	112.7	114.6
11	107.3	109.2	121.9	113.7	109.8	102.7	134.2	114.4	113.3	114.8

（注）（1） 水戸市の指数は、後日総務庁統計局が公表する指数と異なる場合もある。

資料：県統計課

## 17. 卸売物価指数(全国)

(昭和55年=100)

年 月	総 合	対前月	対前年	食 料 品	製 材・ 木 製 品	鉄 鋼	化学製品	石 油・ 石 炭	電 気・ ガ ス
		上 昇 率 (%)	(同月) 上 昇 率 (%)						
昭和56年	101.4	—	1.4	104.9	90.1	99.2	98.1	111.1	110.3
57	101.9	—	0.5	105.7	90.7	99.4	96.9	119.7	111.9
58	101.2	—	△ 0.7	107.5	87.9	99.5	95.0	114.2	112.0
58.11	100.9	0.1	△ 1.2	108.8	87.1	99.7	94.7	108.0	110.4
12	101.1	0.2	△ 0.9	109.4	86.5	99.6	95.0	107.9	110.7
59. 1	101.1	0.0	△ 0.7	109.4	86.6	99.7	94.9	107.7	110.7
2	101.3	0.2	△ 0.5	110.2	86.8	100.1	95.0	107.4	110.7
3	101.3	0.0	△ 0.4	110.1	87.6	100.1	94.1	107.5	110.7
4	101.2	△ 0.1	0.3	109.8	88.2	99.7	94.0	107.0	111.0
5	101.3	0.1	0.2	110.6	88.0	99.4	93.8	106.6	111.7
6	101.2	△ 0.1	0.1	110.7	87.5	99.1	93.8	106.3	111.7
7	101.4	0.2	0.1	110.9	87.3	99.3	93.6	106.2	117.9
8	101.5	0.1	0.7	111.1	87.4	99.2	93.6	106.4	117.9
9	101.6	0.1	0.6	110.9	87.3	99.6	93.6	107.9	117.9
10	101.2	△ 0.4	0.4	110.0	87.3	99.7	93.8	108.1	111.7
11	101.2	0.0	0.3	110.0	87.6	99.7	93.7	108.3	111.7

資料：日本銀行調査統計局

## 18. 生活保護

(単位：世帯, ‰, 人)

年度・月	被 保 護 世 帯	被 保 護 実 人 員	保 護 率	生活扶助 人 員	住宅扶助 人 員	教育扶助 人 員	医療扶助 人 員	その他扶助 人 員
昭和56年度	7 860	15 218	5.9	12 978	7 547	3 225	9 551	26
57	7 873	14 974	5.7	12 602	7 390	2 988	9 150	21
58	7 992	15 000	5.6	12 631	7 626	2 901	9 317	22
58.11	8 026	15 042	5.6	12 712	7 631	2 903	9 242	9
12	8 054	15 049	5.7	12 690	7 730	2 935	9 428	11
59. 1	7 994	14 930	5.6	12 522	7 587	2 881	9 249	14
2	8 030	15 025	5.6	12 614	7 595	2 919	9 451	30
3	8 077	15 154	5.7	12 734	7 691	3 024	9 317	92
4	8 022	14 972	5.6	12 547	7 615	2 921	9 044	25
5	8 041	14 956	5.6	12 523	7 577	2 874	9 287	14
6	8 014	14 893	5.6	12 428	7 559	2 856	9 292	16
7	8 042	14 915	5.6	12 420	7 530	2 879	9 362	11
8	8 028	14 826	5.5	12 329	7 502	2 841	9 285	10
9	7 962	14 660	5.5	12 210	7 432	2 807	9 054	12
10	7 998	14 684	5.5	12 231	7 502	2 802	9 230	11
11	7 964	14 653	5.4	12 222	7 548	2 809	9 166	10

資料：県社会福祉課

- (注) (1) 停止中も含む。  
 (2) 保護率=被保護実人員÷毎月推計人口。  
 (3) その他は、生業、出産、葬祭扶助である。

## 19. 消費生活相談

(単位：件)

年 月	受 付 件 数	内 容 別 相 談 件 数														
		安 全 衛 生	役 務 品 機	質 品 質 能	法 規 基 準	価 格 料 金	計 量 目 的	表 示 告 白	販 売 方 法	契 約 (解 約)	接 客 対 応	包 装 容 器	施 設 備	買 物 相 談	生 活 知 識	そ の 他
昭和56年	2 764	637	1 017	—	207	—	—	—	1 155	—	—	—	—	47	—	599
57	2 321	376	823	—	196	—	—	—	1 120	—	—	—	—	45	—	440
58	3 246	440	979	—	204	—	—	—	1 869	—	—	—	—	31	—	566
58.11	259	30	68	—	12	—	—	—	172	—	—	—	—	1	—	36
12	258	28	44	—	12	—	—	—	196	—	—	—	—	5	—	32
59. 1	194	22	58	—	8	—	—	—	123	—	—	—	—	—	—	27
2	255	39	77	—	7	—	—	—	164	—	—	—	—	1	—	38
3	286	33	86	—	21	—	—	—	189	—	—	—	—	2	—	35
4	292	22	51	3	9	2	5	62	148	13	—	—	13	15	16	
5	356	32	81	11	19	2	7	43	168	15	—	—	28	12	14	
6	392	42	88	14	19	3	8	59	223	15	—	—	16	11	13	
7	322	35	76	7	23	—	6	37	159	19	—	1	23	17	15	
8	322	35	76	7	23	—	6	37	159	19	—	1	23	17	15	
9	397	34	99	14	19	1	15	51	187	11	—	1	16	20	22	
10	418	49	114	15	21	3	12	66	183	24	2	2	19	26	16	
11	385	34	101	14	19	2	7	52	178	23	—	3	24	27	9	

(注) 販売方法、契約(解約)、接客対応の年、及び58年11月～59年3月分は  
販売方法+契約(解約)+接客対応として計上した。

資料：県消費生活センター (TEL0292-24-4722)

## 20. 建築主別建築着工

(単位：千㎡、百万円)

年 月	総 数		建 築 主					
			官 公 庁		会社その他の法人		個 人	
	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額	床 面 積	工事費予定額
昭和56年	5 201	533 134	785	110 670	1 572	156 886	2 844	265 578
57	5 323	571 792	607	83 557	1 758	200 750	2 959	287 486
58	4 929	533 199	606	95 299	1 619	174 938	2 704	262 962
58. 9	433	48 116	70	9 438	135	16 566	228	22 112
10	421	46 553	68	11 689	126	13 046	228	21 819
11	371	39 252	33	5 195	102	10 623	236	23 434
12	511	58 882	60	10 426	212	25 225	239	23 230
59. 1	350	38 054	42	6 800	125	12 586	183	18 668
2	482	51 543	58	9 979	192	19 161	232	22 402
3	433	50 550	32	4 266	175	2 385	227	22 419
4	436	44 149	40	5 101	133	14 008	263	25 040
5	401	38 500	14	1 517	157	14 701	230	22 282
6	420	44 234	32	4 532	153	17 250	235	22 453
7	598	69 693	75	11 817	273	33 053	250	24 823
8	516	57 734	81	11 583	211	23 377	234	22 774
9	439	46 951	51	7 594	181	18 527	208	20 830

(注) 官公庁とは、国、都道府県、市町村を加えたものである。

資料：県建築指導課

## 21. 着工新設住宅

(単位：戸，㎡)

年 月	総 数		持 家		賃 家		給与住宅		分譲住宅	
	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積	戸数	床面積
昭和56年	27 815	2 674 862	16 551	1 914 457	5 570	267 113	445	40 988	5 249	452 304
57	27 202	2 644 835	17 105	2 010 214	5 771	253 025	493	42 969	3 833	338 627
58	25 428	2 311 849	13 677	1 652 463	8 155	341 884	449	41 095	3 147	276 407
58. 9	2 129	178 620	995	119 179	875	35 480	29	3 309	230	20 652
10	2 450	208 128	1 227	143 739	815	30 934	100	6 416	308	27 039
11	2 080	192 979	1 207	147 469	657	26 541	18	1 606	198	17 363
12	2 421	200 483	1 101	133 913	1 038	41 016	38	4 310	244	21 244
59. 1	1 725	150 617	855	103 886	664	27 924	13	1 287	193	17 520
2	2 444	210 521	1 217	146 132	874	38 715	8	934	345	24 740
3	2 111	195 436	1 135	139 978	696	31 205	24	3 405	256	20 848
4	2 178	216 306	1 373	169 528	624	30 257	9	1 202	172	15 319
5	1 812	180 725	1 176	144 459	450	19 088	9	1 550	177	15 628
6	2 046	193 314	1 215	146 368	554	24 007	84	5 919	193	17 020
7	2 743	252 744	1 395	166 346	786	37 099	58	5 567	504	43 732
8	2 138	201 154	1 072	134 680	706	34 653	57	5 292	303	26 529
9	2 123	172 152	981	119 421	996	39 371	40	4 512	106	8 848

資料：建設省計画局

## 22. レジャー状況

(単位：円，件，人，台)

年 月	勤 労 者 世 帯 (水戸市)		旅券発行件数 (観光訪問・その 他個人的目的)	大洗水族館 利用者数	筑波スカイライン利用台数		
	外 食 費	教 養 娛 楽 費 (印刷物・聴視観 覧料・旅行費等)			二 輪 車	乗 用 車	バス・その他
昭和56年	8 734	24 519	28 882	※ 636 740	※ 23 688	※ 205 932	※ 10 057
57	10 135	25 764	31 719	※ 608 845	※ 23 288	※ 199 926	※ 9 182
58	10 912	24 141	34 010	※ 529 764	※ 12 687	※ 192 299	※ 8 541
58.11	9 570	18 597	2 437	18 920	1 090	20 094	1 055
12	16 186	32 322	2 887	8 071	584	8 875	189
59. 1	13 976	22 156	2 521	29 580	742	17 326	184
2	12 468	25 245	2 960	15 413	341	5 967	98
3	10 315	23 168	2 899	38 707	1 290	13 341	286
4	10 315	23 168	2 384	51 670	1 418	19 091	994
5	10 993	26 782	2 621	83 397	1 529	23 562	1 933
6	11 348	21 682	2 913	36 154	1 109	13 173	834
7	11 250	22 551	3 100	56 314	1 560	14 845	609
8	11 231	20 185	3 476	112 046	2 282	29 992	581
9	8 977	20 309	3 188	29 160	1 841	21 171	647
10	…	…	3 167	23 348	1 565	20 464	1 326
11	…	…	2 581	21 593	1 420	22 010	1 094

- (注) (1) 「外食」「教養娯楽」は、抽出調査によるため対象は水戸市内の少数世帯に限られている。  
 (2) 筑波スカイライン利用台数は風返し料金所を通過したもの。また貨物、路線バスも含まれる。  
 (3) ※は年度数値。

資料：総務庁統計局 県総合県民室 県道路公社

## 23. 交通事故発生件数

(単位：人，件)

年 月	発生件数	死 者	負 傷 者	原 因 別 発 生 件 数								
				安 全 運 転 義 務 違 反			酒 酔 い	最 高 速 度 違 反	追 越 し	徐 行	一 時 停 止 違 反	
				わ き 見 前 注 意	安 全 速 度	ハ ン ド ル プ レ ー キ 操 作 不 適 当						
昭和56年	10 161	315	13 218	3 928	886	260	341	543	254	600	692	
57	10 377	327	13 474	3 992	936	229	332	516	237	677	779	
58	10 531	341	13 542	3 828	881	258	270	473	260	676	872	
58.11	930	30	1 191	327	61	24	32	44	24	47	81	
12	905	43	1 130	334	92	26	24	36	22	44	74	
59. 1	689	29	899	207	92	43	24	43	16	28	43	
2	652	23	800	209	97	58	24	30	14	19	34	
3	744	24	976	231	68	32	17	36	22	37	59	
4	695	33	884	243	71	18	26	23	16	41	60	
5	896	23	1 215	264	82	29	19	37	24	60	95	
6	836	29	1 107	267	81	22	17	51	27	49	79	
7	972	26	1 299	285	80	22	25	45	34	72	80	
8	925	25	1 245	301	78	17	21	39	21	68	74	
9	805	29	1 024	252	81	20	21	43	22	46	57	
10	936	32	1 184	366	73	18	21	41	17	43	83	
11	838	32	1 084	281	44	18	20	52	26	45	68	

(注) 原因別発生件数はうち書のため，その計は発生件数と一致しない。

資料：県警察本部交通企画課

## 24. 自動車保険請求相談

(単位：件)

年 月	総 数			自 賠			保 障			任 意		
	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他	被害者	加害者	その他
昭和56年	560	218	803	367	182	730	8	1	10	116	18	22
57	787	281	570	508	195	476	10	2	9	162	47	48
58	779	413	340	461	280	250	16	2	4	228	100	60
58.11	88	29	35	46	18	25	3	—	—	26	7	5
12	58	45	27	44	28	19	—	—	—	21	9	3
59. 1	29	10	1	25	6	—	1	—	—	2	3	—
2	56	18	27	41	18	22	5	—	—	10	—	5
3	37	16	19	32	15	16	1	—	—	3	1	3
4	60	16	30	50	14	28	—	—	1	4	—	—
5	74	24	31	62	22	30	1	—	—	5	2	1
6	75	27	45	61	23	38	2	1	2	6	—	1
7	79	21	57	60	18	39	4	—	—	3	1	1
8	84	29	36	70	23	35	1	—	1	7	2	1
9	94	19	33	62	19	33	4	—	—	14	—	—
10	89	27	41	49	15	34	4	—	2	28	9	5
11	72	35	38	39	20	26	—	—	1	26	12	11

(注) (1) 自賠，保障，任意はうち書のため総数と合計は一致しない。

(2) 自賠＝自動車損害賠償責任保険。保障＝政府保障事業で，保険によらず直接運輸大臣あて請求するもの(無保険・引き逃げ)。任意＝民間の保険。

資料：日本損害保険協会水戸自動車  
保険請求相談センター  
(TEL 0292-26-1693)

## 25. 刑法犯罪発生件数

(単位：件)

年 月	総 数 (認知件数)	凶 悪 犯	粗 暴 犯	窃 盗	知 能 犯	風 俗 犯	そ の 他
昭和56年	24 023	232	1 147	19 907	2 188	114	435
57	24 827	177	1 509	20 567	1 970	114	490
p 58	25 206	148	1 152	21 739	1 718	132	317
58.11	2 200	11	89	1 945	117	23	15
12	2 141	18	108	1 866	104	13	32
59. 1	1 787	10	81	1 510	159	7	20
2	2 041	10	83	1 780	130	8	30
3	2 072	13	94	1 830	104	2	29
4	2 122	17	62	1 869	143	3	28
5	2 165	14	95	1 850	175	1	30
6	2 330	15	69	2 012	204	2	28
7	2 360	13	62	2 084	165	8	28
8	2 239	23	72	1 993	101	11	39
9	2 677	12	183	2 280	171	5	26
10	2 648	13	127	2 326	141	10	31
11	2 883	9	80	2 384	365	3	42

資料：県警察本部刑事総務課

## 26. 火災発生件数

(単位：件，世帯，人，棟)

年 月	発生件数	罹災世帯数	罹災人員数	死 傷 者 数		焼 損 棟 数	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
				死 者	負 傷 者		建 物 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	
昭和56年	1 621	717	2 598	52	148	1 213	59 632	2 896	4 691 521
57	1 556	574	2 047	45	127	1 121	50 101	3 402	3 711 945
58	1 558	675	2 350	51	124	1 229	51 686	1 923	3 898 411
58.11	107	50	199	3	6	78	2 881	25	192 909
12	186	91	304	5	18	151	4 920	118	413 782
59. 1	173	87	317	11	21	147	6 234	179	445 115
2	147	75	274	8	14	138	24 343	63	2 263 260
3	290	115	416	5	23	197	6 685	969	467 066
4	229	64	209	4	15	120	4 051	721	272 914
5	163	56	197	8	10	113	3 193	799	238 328
6	93	48	169	7	17	90	2 781	—	178 305
7	98	40	149	1	16	84	2 391	41	156 435
8	162	42	136	4	9	96	5 187	87	739 907
9	120	45	176	4	9	101	3 909	114	253 171
10	101	40	147	1	10	81	3 784	19	449 494
11	139	57	170	3	9	107	3 664	321	403 837

資料：県消防防災課

## 丑年にちなんで

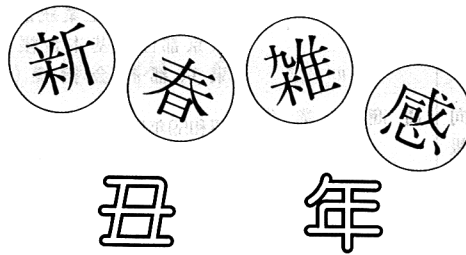
今年是我的丑年である。丑(ウシ)は十二支の第2番目。昔の時刻で丑といえばおよそ午前1時から3時のあいだの真夜中で方位では北北東を指し、丑寅(良=ウシトラ)の方は鬼門として恐れられる。十二支は、本来時刻や方位を見るための歴法上の言葉であったものだが、これを後世になって動物になぞらえ、子を鼠、丑を牛、寅を虎等々とし、人間の性質を観察する時に使われている。しかし人間の性質を観察すると、なるほどそのような一面もあるが、また他方には必ずしもそうでない一面がある。丑(=牛)は世界で最も家畜として飼われており、草食で両角を有する偶蹄目の獣である。その性質はおとなしく善良であり力強い。高島暦によると丑年生まれは「辛抱強く詞少なく根気よく、信用もあり好嫌いありて押強く、腹立つ時は止め様なし、守

り本尊は虚空蔵菩薩である」ということである。これは言い得てよく長所短所をついている。牛に関する慣用句では、“牛にひかれて善光寺参り”、(ほかのことに誘われて偶然よい方に導かれること)、“牛にも馬にも踏まれず”、(子供が無事成長して一人前になること)、“牛の寝た程”、(物の多くあるさま)等日常生活の中に多数使われている。また牛にまつわる地名は全国各地に多数あるが県内では牛久町(牛久沼)、牛堀町があり、それぞれ牛に関する由来が存在している。

私は動物の中でも、このからだのわりには目が小さく人なつこくやさしい、それでいておとなしく善良であるが、半面いざというとき力強さをあらわす牛が大好きだ。私も人としてのやさしさをわすれず丑年を迎えよりよい年にしたいと思う。



庶務グループ  
立川 禮子



統計課丑年生まれの2名の方に今年の抱負雑感をお寄せいただきました。



人口労働グループ  
住谷 紀男

## クルマを捨てよ、街に出でよ

「歩くことが少なくなった」

最近よく感じることである。現代人の特徴ではない。もちろん現代人の多くはあまり歩かないのだが、この場合は私自身についてである。

普段、何らかのスポーツをしていて身体を鍛えているつもりでも、いざ長い距離を歩いてみると相当の苦痛を感じるものである。何年か前に70kmを歩いた際にそのことを痛感した。何ヶ月も前から走り込んでいたのだが、実際には2時間歩いたら足にマメができてしまった。

それ以来、努めて歩くようにと心がけてきた積りである。バスを使用して何処かに行く際に3つ位手前の停留所で降りて後は歩くとか、知らない街を地図だけを頼りに歩き回るとか等である。特に、知らない街を歩くことはとても興

味深く、面白かった。何か一つは発見があった。

しかし、クルマを運転するようになると歩く量が当然ながら減ってしまった。ちょっとした用事でもクルマを使うし、運転すること自体が趣味になっているような風である。そこで今年にはクルマ一辺倒の生活態度を改め、歩く時間を少しでも増やそうかと企んでいる。

